

令和元年度

# 当別町の教育



(当別町一体型義務教育学校 令和4年度開校予定)

当別町教育委員会

# 目 次

教育目標	1
教育大綱	2
小中一貫教育	4
コミュニティ・スクール（CS）	5

## 令和元年度の教育

### 【教育計画・予算】

1 当別町教育推進計画	6
2 学力向上プラン	7
3 体力向上プラン	8
4 教育予算	9

### 【学校教育】

1 重点目標	12
2 小中学校現況	
(1) 児童生徒・教職員数	12
(2) 各学校概況	
当別小学校	13
当別中学校	15
西当別小学校	17
西当別中学校	19
3 小中一貫教育	21
4 学校給食	23
5 保護者支援制度（学校教育）	
(1) 就学援助	24
(2) 特別支援教育就学奨励費	25
(3) 特別支援学級等通学援助費	25

### 【社会教育】

1 重点目標	26
2 社会教育関係事業	
(1) 学校教育との連携事業	26
(2) 生涯学習推進事業	28

(3) 読書活動推進事業	29
(4) 生涯スポーツ推進事業	30
3 社会教育施設	
(1) コミュニティセンター・文化施設等	31
(2) 体育施設	32

### 【子育て・幼児教育】

1 重点目標	33
2 子育て・幼児教育関係事業	
(1) 特別保育事業	33
(2) 子ども発達支援センター事業	34
(3) 学童保育事業	35
(4) 子育て支援事業	35
3 子育て・幼児教育施設	36
4 保護者支援制度（子育て・幼児教育）	
(1) 私立幼稚園助成費	36
(2) 教育・保育施設等助成費	36
(3) 幼児教育・保育の無償化	36

### 【資料】

1 教育委員	37
2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務	39
3 教育関係各種委員	40
(1) 当別町教育支援委員会	
(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織	
(3) 当別町いじめ問題調査委員会	
(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	
(5) 当別町学校給食センター運営委員会	
(6) 当別町学校運営協議会	
(7) 当別町文化財調査審議会	
(8) 当別町社会教育委員会	
(9) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(10) 当別町スポーツ推進委員会	
(11) 当別町少年指導センター	

(12) 当別町子ども・子育て会議	
(13) 当別町要保護児童対策地域協議会	
4 教育関係各種団体	46
(1) 当別町文化協会加盟団体	
(2) 当別町体育協会加盟団体	
(3) 当別町子ども会育成連合会加盟団体	
(4) 当別町女性団体連絡協議会加盟団体	
5 指定文化財一覧	48
6 教育の沿革	49
7 統計データ	55
(1) 小中学校施設の概況	
(2) 児童生徒数の推移	
(3) 各学校統合年の一覧	
(4) 就学援助の状況	
(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
(7) コミュニティセンター・文化施設等 及び体育施設利用状況	
(8) ふとみ保育所利用状況	
(9) 子ども発達支援センター利用状況	
(10) 私立幼稚園助成費	
(11) 教育・保育施設等助成費	

---

# 教育目標・教育大綱

---

1	教育目標	P1
2	教育大綱	P2
3	小中一貫教育	P4
4	コミュニティ・スクール(CS)	P5

---



## 当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。

科学的な知識や技能を身につける。

豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。

自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。

明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

[昭和31年制定]

## ➤ 2 教育大綱

### 当別町教育大綱

#### 1 策定の趣旨と位置づけ

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その根本となる方針を定めるものである。

なお、この大綱は、町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において協議、調整し町長が定める。

#### 2 期 間

原則として平成27年度から平成31年度までの5年間とする。なお、必要に応じ、内容を見直すことができる。

#### 3 関連計画等

- (1) 当別町第5次総合計画（平成21年度から概ね10年）
- (2) 第4次当別町生涯学習推進計画（平成26年度から平成31年度）
- (3) 平成27年度町政執行方針
- (4) 平成27年度教育行政執行方針
- (5) 平成27年度当別町教育推進計画
- (6) 当別町小中一貫教育に関する取組基本方針（平成27年度以降）

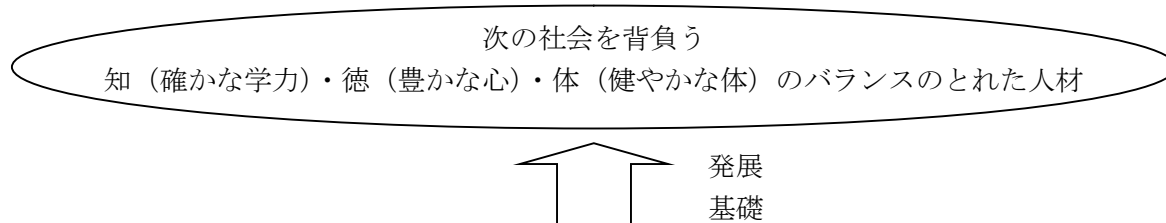
#### 4 基本方針

##### (1) 学校教育

変化の激しい時代を生きる子どもたちに、基礎基本をしっかりと身につけさせ、思考力や判断力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働し、自らの手で自らの人生を切り開いていける力をつける教育を行う。

##### 【育てたい児童・生徒像】

次の社会を背負っていける、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）のバランスのとれた人材の育成を目標に、下記①～⑥の児童・生徒像を掲げる。



##### 【育てたい児童・生徒像～身につけさせたい力～】

- ①基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲  
～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- ②豊かな人間  
～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切にできる子ども～
- ③健康な心身  
～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- ④コミュニケーション能力  
～自分の考えや思いを伝え、聞くことで積極的に人間関係を築く力を持った子ども～
- ⑤プレゼンテーション能力  
～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- ⑥当別が好きな子ども  
～当別の歴史や文化、産業を知り、好きになり、当別を自分の原点とする子ども～

## (2) 社会教育

全ての町民が幸せを感じることでできる生涯学習社会の実現を目指す。

## (3) 地域の教育力の活用

学校と保護者、地域の連携・協働によって、子どもたちの学びを支援する。

# 5 施策

## (1) 学校教育

### ア) 幼・保・小の接続及び小・中一貫教育の推進

小・中9年の連続した教育課程を確立し、義務教育段階での学習内容の定着を確かなものとする。さらに応用力を高めるなど、子どもたちの多様な進路希望をかなえる質の高い学力をつける。また、円滑な義務教育への移行のため、幼稚園や保育所との接続を重視した施策を行う。

### イ) 国際理解教育の推進

グローバル化が進む中、豊かな国際感覚を身につけ、国際社会において主体的に行動できる能力（英語力等）の基礎をつくる。そのため ALT や ICT、地域人材を活用し、英語に触れ学ぶ機会を拡充していく。

また、小中一貫した教育課程を研究、実践する。

### ウ) 中等（後期）・高等教育機関との連携の推進

当別高校、北海道医療大学、近隣の北海道教育大学等の知的・人的・物的資源（学生や教員、施設設備）を活用した、専門的講義や実習、体験活動等幅広い教育を行う。

### エ) 教育環境の整備推進

校舎の老朽化対策を進め、学習環境の整備を図る。

## (2) 社会教育

### ア) 生涯学習の推進

住民ニーズに対応した学習機会の提供とともに、学習の成果が活用できる仕組みを構築し、生きがいややりがいにつながる事業を展開する。

### イ) 生涯スポーツの推進

町民がそれぞれの体力や年齢・目的に応じて、継続的にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ環境の整備を行う。また、子どものスポーツ振興には特に留意し、体力向上や社会性、心の育成を進める。

### ウ) 文化・芸術活動の推進

文化・芸術に関する学習機会の提供とともに、町民の自主的な活動への支援に努め、文化・芸術の薫り高いまちづくりを進める。

### エ) 図書館機能の充実

当別町図書館像検討委員会からの答申をもとに、既存図書室の充実を図りながら、わが町にふさわしい図書館の実現に向け、関係機関との調整を進める。

また、子どもの読書活動については、その成長に大きな影響を及ぼすことから「第2次当別町子どもの読書活動推進計画」により、計画的に進める。

## (3) 地域の教育力の活用

ア) 保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させる、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を進める。

イ) 学校支援地域本部の普及促進により、学校の教育活動を支援する。

ウ) 地域の多様な人材を活用し、当別の自然を活かした体験や放課後、休日の教育支援を促進する。

エ) ア～ウのような社会全体で子どもたちの学びを支援する取り組みを通し、学校を核とした地域づくりを進める。

➤ 3 小中一貫教育（平成29年4月より小中一貫型小学校・中学校として2小2中間で開始）

「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」（平成27年3月制定）

小 中 一 貫 教 育 の 目 的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる。
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する。

小中一貫教育でめざす方向性

めざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

めざす児童生徒像

- 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切に出来る子ども～
- 健全な心身 ～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- コミュニケーション能力 ～自分の考えや思いを伝え、また聞くことで、積極的に人間関係を築く力を持つ子ども～
- プレゼンテーション能力 ～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- 当別が好きな子ども

めざす学校像

- 上位の学校へのスムーズな移行や、「ずれ」や「逆転」のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- 地域や保護者の思いが生かされ共に歩める学校
- 魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校

めざす地域像

- 学校がまちづくりの核である地域
- 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

※令和元年度の取組みは、P21・22を参照

今後の方向性

令和4年4月 当別地区に一体型義務教育学校開校

【開校に向けての各種委員会設置】

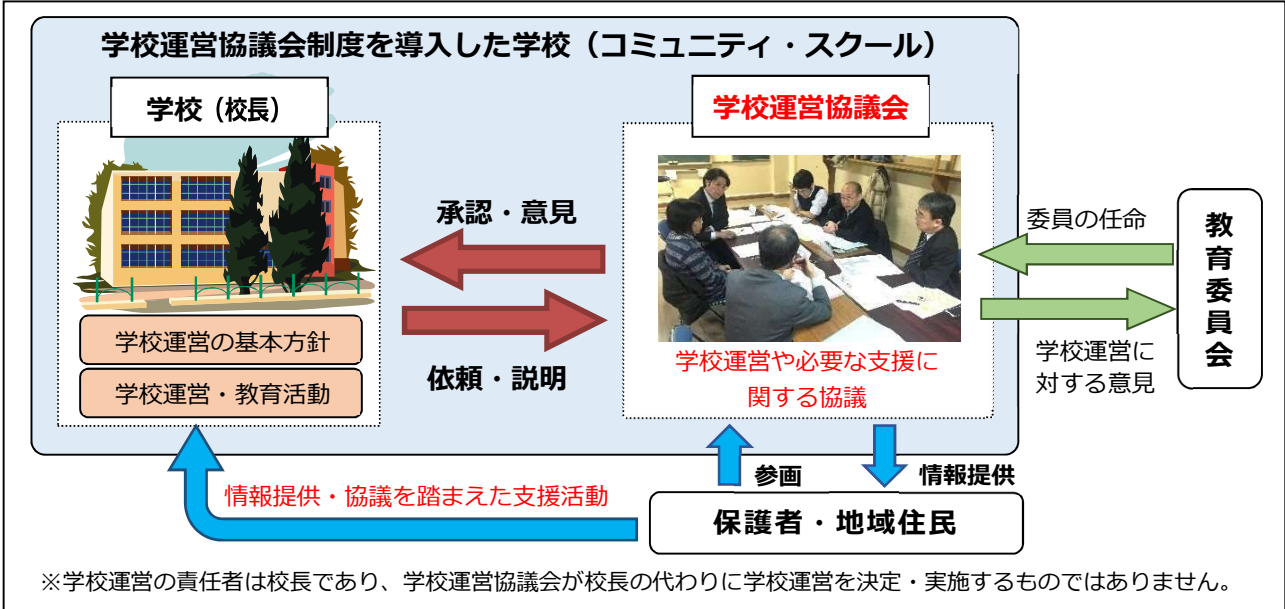
- 「建設検討委員会」（平成30年10月設置）  
（検討事項：建設全般、設計受託業者との調整・協議に関する事項等）
- 「開校準備委員会」（令和元年5月設置）  
（検討事項：校名、校訓、校則、式典事業、新校舎移転計画に関する事項等）
- 「教育課程編成委員会」（令和元年5月設置）  
（検討事項：教育課程の編成、学校行事、児童生徒諸活動に関する事項等）



➤ 4 コミュニティ・スクール（CS）

地域とともにある学校 = 学校運営協議会設置校（CS）

学校運営協議会は、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する組織で「地域とともにある学校」づくりを推進します。



義務教育 9 年間の学びの充実のために

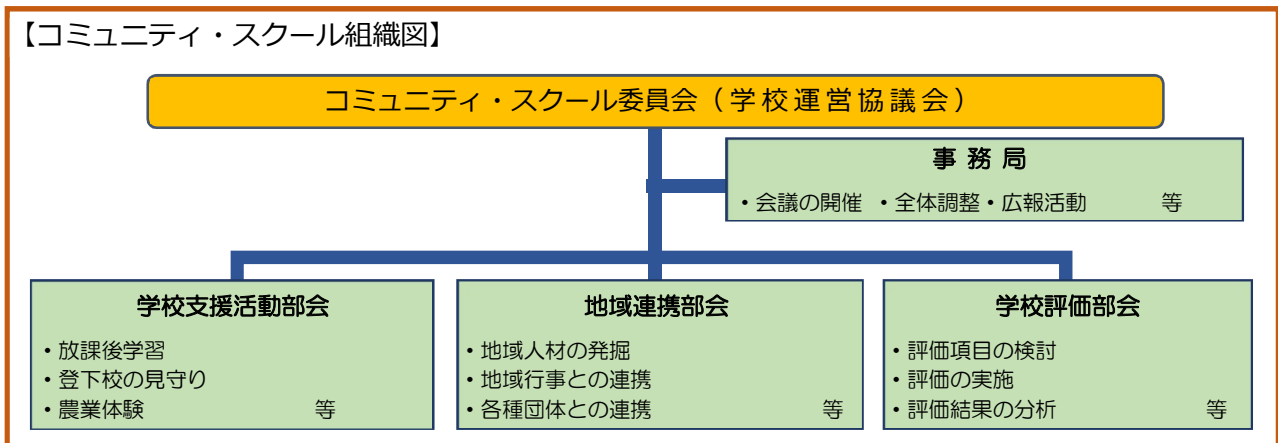
小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育 9 年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

当別町では、平成 29 年度に各中学校区（当別地区・西当別地区）に学校運営協議会を設置しました。基本的な活動として以下の 3 点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」を作ります。

- (1) 「学校運営に関する基本方針」承認
- (2) 学校運営についての意見
- (3) 学校評価

【コミュニティ・スクール組織図】



---

# 教育計画・予算

---

- 1 当別町教育推進計画 P6
  - 2 当別町学力向上プラン P7
  - 3 当別町体力向上プラン P8
  - 4 教育予算 P9
-

# 当別町教育推進計画

## めざす人間像

つけさせたい力と  
めざす児童生徒像

(確かな学力) (豊かな心) (健やかな体)

## ～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 1 基礎基本に基づく発展的学力、自ら学ぶ意欲、～夢や希望を実現するため努力し、行動できる子ども～
- 2 豊かな人間性、～自分を大切に人を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 3 健全な心身、～全ての基礎となる強い体と心を持った子ども～
- 4 コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、～自分で考え自分の言葉で伝え、相手の意見に耳を傾け、人間関係を築ける子ども～
- 5 当別が好き子ども、～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

## 2019年度

### 一貫教育の重点

- 1 小中一貫した教科指導の充実 (教科系統表の活用による効果的な授業、主体的・対話的で深い学びの実践)
- 2 新学習指導要領対応 (小学校英語推進に対する中学校との連携)
- 3 学校間のさらなる協働 (児童生徒指導、行事、いじめ撲滅等)
- 4 学校運営協議会の充実・活性化 (児童生徒の生活習慣改善)

重点目標	【重点1】 確かな学力の育成 (知)	【重点2】 豊かな心の育成 (徳)	【重点3】 健やかな体の育成 (体)
<p>《基本方針》 子どもの発達や学びの連続性を踏まえた 小中一貫教育による確かな学力、 豊かな心、健やかな体の育成</p>	<p>学びの連続性を踏まえた教育課程の編成・実施 一体型義務教育学校の教育課程研究</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 9年を通じた教育課程の編成と実施</li> <li>② 9年を通じた学習規律の確立</li> <li>③ 特別な支援を必要とする子どもに対する支援</li> <li>④ 一貫教育推進講師と外国語指導助手 (ALT) の継続配置</li> <li>⑤ 小学校の授業改善を目的とした北海道教育委員会指定事業 (当別小学校・西当別小学校共同指定) の成果波及</li> <li>⑥ 社会教育課と子ども未来課との連携による学習支援や読書活動の推進</li> </ol>	<p>「特別の教科 道徳」を中心とした心の教育 発達段階に応じた生徒指導 小中合同による</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 考え議論する道徳の実現に向けた授業改善</li> <li>② 発達段階を踏まえた生徒指導</li> <li>③ 不登校児童生徒の情報共有と指導</li> <li>④ 芸術鑑賞やボランティア活動</li> </ol>	<p>発達段階に応じた体力向上プランの作成・実施 一校一実践の取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 北海道医療大学や日本体育大学との連携による指導者研修や児童生徒指導の実施</li> <li>② フッセル物洗口の実施要領の改善</li> <li>③ 当別町食生活改善協議会や北海道当別高等学校との連携による食育の実施</li> <li>④ 学校運営協議会 (CS) による保護者・地域との連携による児童生徒の生活習慣改善</li> </ol>
達成指標	<p><b>全国学力・学習状況調査や各校査査結果全国平均以上</b></p>	<p><b>小中合同の多様な取り組み、いじめゼロ</b></p>	<p><b>全国体力・運動能力、運動習慣等調査全種目全国平均以上</b></p>
重点目標	【重点1】 多彩な生涯学習プログラムの展開	【重点2】 読書活動の推進	【重点3】 学校を核とした地域力強化 プラン事業による児童生徒、学校支援
<p>《基本方針》 全ての町民が幸せを実感できる 生涯学習社会の実現</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学との新たな学習プログラムの実施</li> <li>② 「当別町歴史・文化プロジェクト」による古文書解析の上級者養成、伊達時別館などの歴史文化遺産の改修や資料整理</li> <li>③ 「ことぶき大学」など高齢者の生きがいづくりを目的とした多世代交流事業</li> <li>④ 「ふれあスポ with A.M.B」との連携による生涯学習の推進</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ブックスタートやブックセカンズ、読み聞かせなどの保護者啓発事業</li> <li>② 巡回図書事業の拡充</li> <li>③ 学習交流センターと西当別コミュニティセンターズインイベントの開催</li> <li>④ 学校への図書司書派遣事業の拡充</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 子ども未来課や福祉部との連携による子育て支援事業や多世代交流事業</li> <li>② リトリミック (音楽や体操) を取り入れた新たな子育て支援事業の実施</li> <li>③ 家庭教育ナビゲーターの養成と活用</li> </ol>
達成指標	<p><b>プログラム及び参加者数前年比10%増</b></p>	<p><b>児童・生徒一人当たりの図書貸出し冊数10%増</b></p>	<p><b>講師派遣事業学校要望100%、学習会の参加児童生徒数前年比10%増</b></p>
重点目標	【重点1】 家庭と一体となった子育て支援	【重点2】 幼児教育・保育の充実	【重点3】 早期療育の推進
<p>《基本方針》 子どもの健やかな成長のために</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 社会教育課や福祉部との連携による子育て支援</li> <li>② 保育料無償化の取り組みの拡大</li> <li>③ 各認定こども園との連携による幼児教育の推進</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>④ 就学に向けた幼保小間の接続プログラムの作成</li> <li>⑤ 子どもプレイハウスの学習やスポーツ活動の充実</li> <li>⑥ 児童相談所など各機関との連携強化</li> </ol>	<p><b>【重点4】 児童虐待の防止</b></p>
達成指標	<p><b>各事業の参加者数前年比10%増、幼児教育と義務教育の接続プログラム作成、児童虐待事案ゼロ</b></p>	<p><b>各事業の参加者数前年比10%増、一時保護事案ゼロ</b></p>	<p><b>【重点4】 児童虐待の防止</b></p>
教育委員会のその他の取組	<p>●義務教育学校開校準備 ●第5次当別町教育推進計画作成 ●第3次当別町子ども読書活動推進計画作成 ●教職員の長時間勤務改善 ●第2期当別町子ども子育て支援事業計画作成</p>		

# 学 校 経 営 計 画

## 点検・評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

➤ 2 当別町学力向上プラン

**【目標】 全国学力・学習状況調査で全教科全国平均以上をめざす**



**【現状】**

- 小学校では、国語 A、算数 A、国語 B で改善がみられるものの、平均正答率で全国平均まで到達することができない状態である。
- 中学校では、数学 A と理科が全国平均を上回り、その他の教科は平均正答率で全国平均まで到達することができない状態である。



**【具体的な方策】**

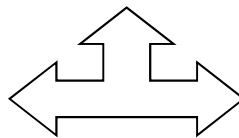
**学 校**

- 「主体的、対話的で深い学び」のアクティブラーニングの視点を取り入れた入れた授業改善
- 指導内容の連続性や系統性を重視した教育課程の工夫改善
- 学校改善プランの着実な実践
- 一貫教育推進講師の効果的な活用
- 家庭学習の定着と内容の工夫
- 学習規律の徹底を柱とした支持的風土づくり
- 下位層の底上げのために、計画的な少人数・習熟度別指導
- 小中の研究計画を9年間見通し、合同研究・合同研修の実施
- メンターを取り入れた校内研修の実施

**教育委員会**

- 「主体的、対話的で深い学び」のアクティブラーニングの視点を取り入れた入れた授業改善に向けた指導・助言
- 小中一貫教育の推進
- 小中一貫教育推進講師の配置
- 小中の乗り入れ授業の指導
- ICT機器の整備と活用
- 指導工夫改善に関わる指導
- 放課後学習会や土曜学習会の充実
- 長期休業中の学習支援の充実
- 読書活動の充実
- コミュニティ・スクールの活用・支援
- 教師の資質向上のための研修機会の充実
- 業務の効率化に有効な校務支援システムの活用

**学 ぶ 力 の 向 上**



**【学校における学力向上の年間計画】**

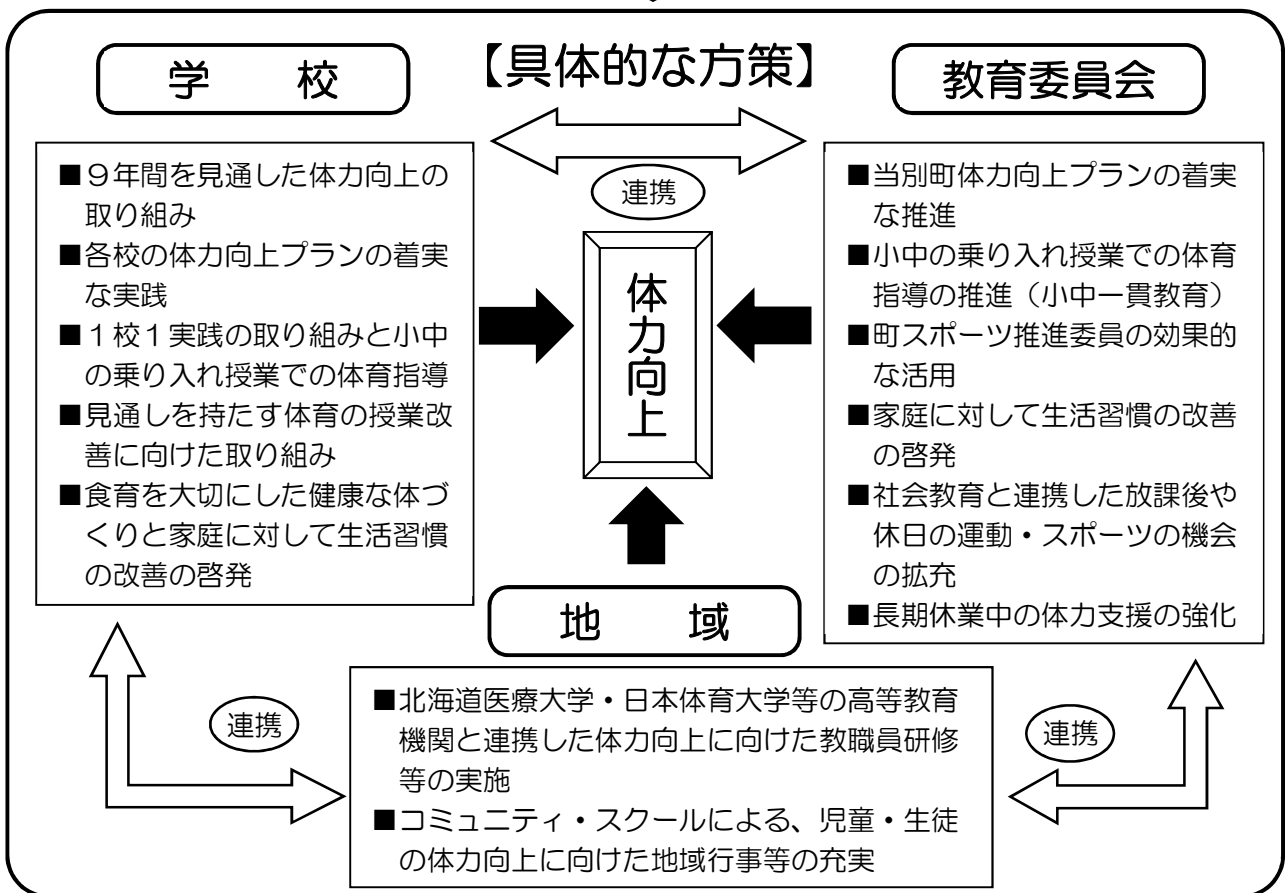
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施	←改善プランの実践→			結果分析	←改善プランの見直し・実践→						

### ➤ 3 当別町体力向上プラン

【目標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均以上をめざす

【課題】

- 小・中学校ともに、体力向上に向けた取り組みの成果が出てきているが、「筋力、筋持久力、持久力」に課題がみられる。
- 小・中学校ともに、家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を見ている時間が、全国平均を大きく上回っていることから、生活習慣の改善が喫緊の課題である。



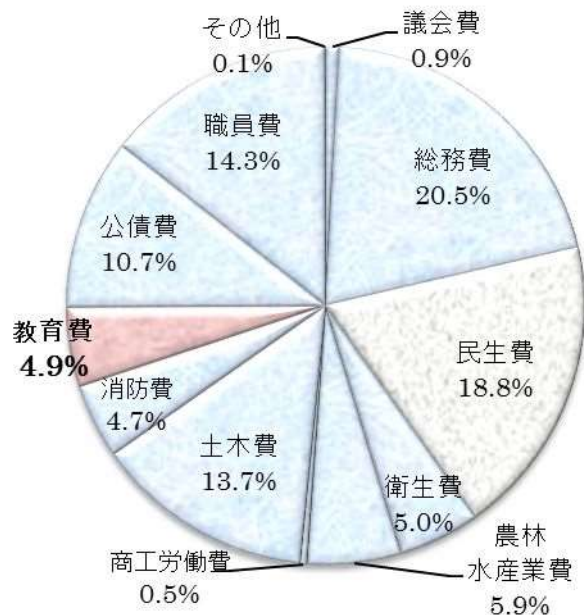
【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し	準備	体力調査実施	結果分析・評価								
教委	体力向上プラン作成	学校への支援									結果分析・評価	

## ➤ 4 教育予算

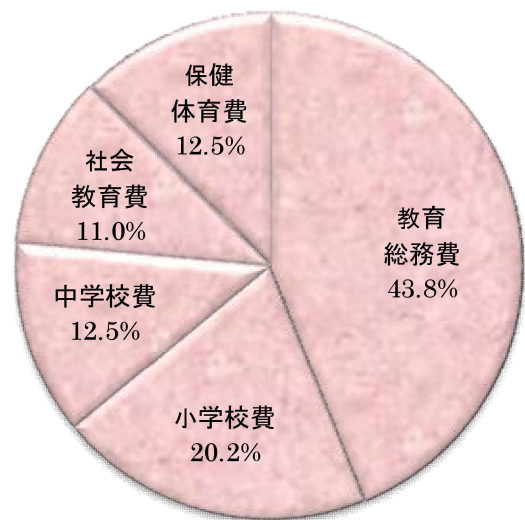
### 1 平成31年度 一般会計当初予算額 103億4,021万円

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
議会費	88,057	0.9
総務費	2,123,612	20.5
民生費	1,946,898	18.8
衛生費	521,602	5.0
農林水産業費	606,450	5.9
商工労働費	46,899	0.5
土木費	1,417,110	13.7
消防費	483,854	4.7
<b>教育費</b>	<b>511,630</b>	<b>4.9</b>
公債費	1,105,261	10.7
職員費	1,483,819	14.3
その他	5,015	0.1
総額	10,340,207	100



### 2 平成31年度 教育費当初予算額 5億1,163万円

区分	金額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	224,296	43.8
小学校費	103,216	20.2
中学校費	63,709	12.5
社会教育費	56,270	11.0
保健体育費	64,139	12.5
総額	511,630	100



(参考)

民生費当初予算額 (子ども未来課所管分)

区分	金額 (千円)
児童福祉費	367,638

### 3 教育予算の推移

年度	一般会計予算(千円)	増減率 (%)	教育費予算(千円)	増減率 (%)	構成比 (%)
平成27年度	9,415,656	22.0	443,840	5.5	4.7
平成28年度	8,761,182	▲7.0	464,729	4.7	5.3
平成29年度	9,347,897	6.7	461,228	▲0.8	4.9
平成30年度	9,249,051	▲1.1	513,781	11.4	5.6
平成31年度	10,340,207	11.8	511,630	▲0.4	4.9

※各年度当初予算額



## 4 主な事業

### 【学校教育課所管】

#### 小中一貫教育推進事業 (9,623 千円)

児童生徒の学びの連続性を確保するため、「一貫教育推進講師(非常勤)」(英語 2 名、算数(数学) 2 名)を各中学校区に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図る。

また、小学校高学年の中学校登校や中学校教員の小学校への乗り入れ授業等、児童生徒・教職員の交流を促進し、「小中一貫教育でめざす人間像」である「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人材」の育成を図るとともに、一体型義務教育学校の開校に向け、学校運営やカリキュラム編成等について検討を進める。

#### 特別支援教育支援員配置事業 (16,428 千円)

小・中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個別な声掛けや学習支援を行うため、すべての小・中学校に「特別支援教育支援員」を 2 名ずつ(計 8 名)配置し、個々の基礎学力の定着を図り、学習環境の充実を図る。

#### コミュニティ・スクール運営事業 (645 千円)

小中一貫教育を地域全体で進めるため、各中学校区に学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」による「地域とともにある学校」づくりを推進する。

#### 小中学校芸術鑑賞事業 (500 千円)

児童生徒の豊かな感性と創造性・思考力・コミュニケーション能力等の育成を図るため、小中学校合同で芸術鑑賞を行う。

#### 各小中学校英会話指導助手配置事業 (7,972 千円)

英語教育の充実のため、小学校と中学校の全学年に外国人講師による英会話指導助手を派遣する。

また、令和 2 年度から新たな学習指導要領が実施されることに伴い、小学校 5・6 年生の外国語教育が教科化されることを見据え、町の独自施策として、授業時数及び内容を先行実施する。

これに合わせて、外国人講師 3 人による英会話指導助手を、小学校 1・2 年生に年間 10 時間、小学校 3・4 年生に年間 35 時間、小学校 5・6 年生に年間 70 時間、中学生には年間 9 時間派遣する。

#### 学校施設改修事業 (35,090 千円)

老朽化している学校施設の教育環境改善のため、西当別小学校屋内体育館を改修する。

#### 学校給食センター改修事業 (21,816 千円)

機械設備及び厨房設備を計画的に改修することにより、町内小中学校の児童生徒へ安定した給食を提供する。

## 【社会教育課所管】

### 学校を核とした地域力強化プラン事業 (3,311 千円)

学校支援地域本部事業(学校への支援)や児童生徒の自立した学習のための支援事業(放課後学習会や土曜学習会)、英語体験事業(小学生が英語に馴れ親しむ活動)を地域住民の協力により実施する。事業費は、国・道・町がそれぞれ1/3を負担する。

### 歴史文化プロジェクト (2,700 千円)

当別開拓の歴史を後世に伝えるため、歴史講座(古文書解析の上級者養成など)や歴史文化財産(伊達邸別館など)の改修、資料整理を計画的に実施する。

### 社会体育施設等指定管理事業 (43,803 千円)

社会体育施設等(当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール)の指定管理を継続し、民間の活力により住民サービスの向上を図る。

## 【子ども未来課所管】

### 子育て支援センター運営事業 (3,443 千円(児童福祉費))

乳児から就学前の子どもと保護者を対象に、子育て世代の交流、子育て関連情報の提供、子育て相談、多世代との交流等を推進することで、子育て家庭に寄り添いながら、子育ての不安感の緩和や子どもの健やかな育ちを支援する。

### 放課後児童対策事業(子どもプレイハウス) (17,913 千円(児童福祉費))

就労等の理由により家庭に保護者のいない小学生に対し、放課後、長期休業日等における保育サービスの提供及び学習・運動支援の実施により、児童の健全育成及び学力・体力向上を図る。

### 教育・保育施設等給付事業 (279,975 千円(児童福祉費))

子ども・子育て支援法に基づく教育・保育給付として、教育・保育施設等の利用者に対し費用の一部を負担することにより利用の促進へと繋がり、幼児教育の推進及び教育・保育サービスの充実を図る。

また、新たにふとみ保育所を公私連携型認定こども園へ移行することにより、西当別地区に幼稚園機能を有する施設を開設する。

### 教育・保育施設利用者負担額無償化事業 (23,804 千円(児童福祉費))

国において実施予定が検討されている2019年10月からスタートする3歳児から5歳児の幼児教育無償化に伴い、町としても国の動きと併せ取り組むとともに、平成29年度から実施している保育施設を利用する3歳未満の第2子に係る保育料無償化事業を継続し、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもを産み育てやすい環境の充実を図る。

### 子ども発達支援センター運営事業 (19,553 千円(児童福祉費))

心身の発達に特性を持つ児童に対し、利用者の多様なニーズ、生活環境及び対象児童の特質に配慮した療育の提示、指導等の療育支援を行うほか、関係機関等とも連携し効果的な支援体制の構築に努め、早期療育の推進と強化を図る。



---

# 学校教育

---

1	重点目標	P12
2	小中学校現況	P12
3	小中一貫教育	P21
4	学校給食	P23
5	保護者支援制度	P24

---

➤ 1 重点目標

1 確かな学力の育成（知）

2 豊かな心の育成（徳）

3 健やかな体の育成（体）

※詳細は、P6「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 小中学校現況

(1) 児童生徒・教職員数

令和元年5月1日現在


区分 学校名		学級数		児童生徒数（人）								教職員数（人）					
		普通	特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭
1	当別小学校	12	4	47	36	44	56	63	47	8	301	1	1	23	1	2	1
2	西当別小学校	10	2	25	43	35	48	51	44	5	251	1	1	15	1	1	
小学校計		22	6	72	79	79	104	114	91	13	552	2	2	38	2	3	1
1	当別中学校	6	2	70	66	67				3	206	1	1	15	1	1	
2	西当別中学校	6	2	43	42	49				2	136	1	1	14	1	2	
中学校計		12	4	113	108	116				5	342	2	2	29	2	3	
合計		34	10							18	894	4	4	67	4	6	1

※加配事業による教員等の配置について（上記教職員数の内数）

加配事業名	当小	西小	当中	西中	合計
指導方法工夫改善	1	1	1	1	4
通級指導	3				3
授業改善推進チーム活用事業	1	1			2
校務支援システム			1		1
免許教科外教科担任解消（美術）				1	1
専科指導（英語）			1	1	2
事務職員	1			1	2
少人数学級実践研究事業	1				1
合計	7	2	3	4	16

(2) 各学校概況

当別小学校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【校章の意味】</b> 中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。</p> </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">〒061-0222 北海道石狩郡当別町元町 102 番地 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760</p>			
校歌	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">二 由緒も深き 開拓の 先人の意気しのびつつ 心をつくし 身をつくし 誠の道にはげみなん</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">一 紫雲にけぶる 阿蘇の山 麓をめぐる当別の 流れつきせぬ 学びやに 至誠の華は香るなり</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">作詞 大橋 涉 作曲 末武 義雄</p> </div> </div>			
沿革の概要	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">                 明治 5年 6年 39年 43年 大正 9年 昭和 22年 39年 41年 44年 47年 52年 53年 57年 58年 59年 63年 平成 8年 12年 14年             </td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;">                 鮎田如牛が当別町において開塾 「当別教育所」と改称 校舎現在地移転 北海道庁官より教育の侯に対し選賞 校舎新築 6・3制により「当別小学校」と改称 特殊学級「いなほ」1学級認可 石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成（当別学校プール1号） 体育館完成 新校舎完成、落成式挙行 開校100周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈 学校基本調査について文部大臣表彰 学校の教育目標改訂 創立110周年記念式典挙行、 PTA記念事業により遊具施設設置 石狩地区小学校放送教育研究指定校 石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 「ことばの教室」1学級認可 学校給食開始 コンピュータ教室設置 開校130周年記念写真集作成             </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top;">                 平成 14年 16年 17年 22年 24年 25年 27年 28年 29年 30年 石狩管内教育機器連盟研究大会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 ことばの教室が通級指導教室となる オヤジの会発足 校舎耐震改修工事 体育館改築 開校140周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成) 当別地区プレイハウスが当別小学校 内へ移転 北校舎トイレ改修工事 電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会 弁華別小学校閉校により本校に統合 小中一貫教育開始 全国書道コンクール団体優勝 (17年連続28回目) 全国学生書道展覧会団体優勝 (23年連続33回目) 全国書道コンクール団体優勝 (18年連続29回目) 当別教育功績表彰受賞 授業改善推進チーム活用事業開始             </td> </tr> </table>	明治 5年 6年 39年 43年 大正 9年 昭和 22年 39年 41年 44年 47年 52年 53年 57年 58年 59年 63年 平成 8年 12年 14年	鮎田如牛が当別町において開塾 「当別教育所」と改称 校舎現在地移転 北海道庁官より教育の侯に対し選賞 校舎新築 6・3制により「当別小学校」と改称 特殊学級「いなほ」1学級認可 石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成（当別学校プール1号） 体育館完成 新校舎完成、落成式挙行 開校100周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈 学校基本調査について文部大臣表彰 学校の教育目標改訂 創立110周年記念式典挙行、 PTA記念事業により遊具施設設置 石狩地区小学校放送教育研究指定校 石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 「ことばの教室」1学級認可 学校給食開始 コンピュータ教室設置 開校130周年記念写真集作成	平成 14年 16年 17年 22年 24年 25年 27年 28年 29年 30年 石狩管内教育機器連盟研究大会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 ことばの教室が通級指導教室となる オヤジの会発足 校舎耐震改修工事 体育館改築 開校140周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成) 当別地区プレイハウスが当別小学校 内へ移転 北校舎トイレ改修工事 電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会 弁華別小学校閉校により本校に統合 小中一貫教育開始 全国書道コンクール団体優勝 (17年連続28回目) 全国学生書道展覧会団体優勝 (23年連続33回目) 全国書道コンクール団体優勝 (18年連続29回目) 当別教育功績表彰受賞 授業改善推進チーム活用事業開始
明治 5年 6年 39年 43年 大正 9年 昭和 22年 39年 41年 44年 47年 52年 53年 57年 58年 59年 63年 平成 8年 12年 14年	鮎田如牛が当別町において開塾 「当別教育所」と改称 校舎現在地移転 北海道庁官より教育の侯に対し選賞 校舎新築 6・3制により「当別小学校」と改称 特殊学級「いなほ」1学級認可 石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成（当別学校プール1号） 体育館完成 新校舎完成、落成式挙行 開校100周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈 学校基本調査について文部大臣表彰 学校の教育目標改訂 創立110周年記念式典挙行、 PTA記念事業により遊具施設設置 石狩地区小学校放送教育研究指定校 石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 「ことばの教室」1学級認可 学校給食開始 コンピュータ教室設置 開校130周年記念写真集作成	平成 14年 16年 17年 22年 24年 25年 27年 28年 29年 30年 石狩管内教育機器連盟研究大会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 ことばの教室が通級指導教室となる オヤジの会発足 校舎耐震改修工事 体育館改築 開校140周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成) 当別地区プレイハウスが当別小学校 内へ移転 北校舎トイレ改修工事 電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会 弁華別小学校閉校により本校に統合 小中一貫教育開始 全国書道コンクール団体優勝 (17年連続28回目) 全国学生書道展覧会団体優勝 (23年連続33回目) 全国書道コンクール団体優勝 (18年連続29回目) 当別教育功績表彰受賞 授業改善推進チーム活用事業開始		
教育目標	<p style="text-align: center;">一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、平和で幸福な社会の担い手として、小中9年間を見通した心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 知性をみがく子ども (よく考える子ども) 〈知〉</li> <li>◇ 心豊かな子ども (心のゆたかな子ども) 〈情〉</li> <li>◇ 意志の強い子ども (さいごまでやりぬく子ども) 〈意〉</li> <li>◇ からだのじょうぶな子ども (強いからだの子ども) 〈体〉</li> </ul>			

<p>経営の重点</p>	<p>「子どもの発達や学びの連続性を踏まえた小中一貫教育の推進」による 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中一貫教育による確かな学力の定着と向上（知）</li> <li>2. 個性を伸ばし豊かな人間性・社会性の育成（徳）</li> <li>3. 命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進（体）</li> <li>4. 学校支援</li> </ol>																																													
<p>研究主題</p>	<p>《 研 究 主 題 》 生き生きと学び、表現できる児童・生徒の育成 ～学びの連続性と指導の継続性を重視して～</p>																																													
<p>特色ある教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>小中9年間を見通した小中一貫教育の取組</b> 小中で目指す児童生徒像の共有化を図りながら、9年間を見通した指導計画の作成、小中合同研修会の開催、乗り入れ授業等の取組を行う。</li> <li>2 <b>確かな学力の定着・向上の取組</b> 「基礎学力」と「続ける力」を育てるドリカムプロジェクトにより、絶対に身に付けさせる基礎学力を明確化し、全学級で共通した取組を行う。（児童が授業に集中できる学習環境づくり・朝の時間の有効活用・家庭学習の継続的な取組等）</li> <li>3 <b>読書活動の推進</b> 朝読書（週1回）をはじめ、読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。</li> </ol>																																													
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <table border="1" data-bbox="279 1473 1305 1657"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>33</td> <td>24</td> <td>6</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>2</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>47</td> <td>36</td> <td>44</td> <td>56</td> <td>63</td> <td>47</td> <td>8</td> <td>301</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16	男子	24	15	23	26	33	24	6	151	女子	23	21	21	30	30	22	2	150	合計	47	36	44	56	63	47	8	301
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16																																						
男子	24	15	23	26	33	24	6	151																																						
女子	23	21	21	30	30	22	2	150																																						
合計	47	36	44	56	63	47	8	301																																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <p>校長 渡邊久徳 教頭 若林公一</p> <p>教職員数 教諭23名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名 非常勤講師2名 一貫教育推進講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																																													

# 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



**【校章の意味】**

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

〒061-0205  
 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地  
 電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

校歌

<p style="text-align: center;">三 開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讃えん ああ我が郷土</p>	<p style="text-align: center;">二 白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あけくれば 真理さわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p style="text-align: center;">一 緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p> <p style="text-align: right;">作詞 井上 治雄 作曲 藤 定一</p>
--	---	---

沿革の概要

<p>昭和 22年 25年 27年 32年 33年 36年 41年 42年 44年 48年 52年 58年 平成 4年 8年 9年</p>	<p>当別村立当別中学校が開校 校章制定 校歌制定 独立校舎に移転(旧競馬場跡) 中小屋分校が独立 同窓会発足 開校10周年記念式典 三番川、四番川分校が独立 当別川が氾濫し校舎床上浸水 ときわ学級開設(特殊学級) 開校20周年合同記念式典 牛乳給食開始 新校舎完成竣工・移転完了 スクールバス運行開始 開校30周年記念式典 校舎改修工事 石狩管内教育実践奨励賞受賞 学校給食開始 スクールカウンセラー配置</p>	<p>平成 9年 15年 17年 19年 20年 21年 22年 23年 24年 25年 27年 28年 29年 30年</p>	<p>当別中学校開校50周年記念式典 第3回東日本学校 吹奏楽コンクール金賞(C編成) 除雪ボランティア善行顕彰を受賞 石教研学校課題研究発表 剣道部女子全道大会出場 相撲部全道大会準優勝、 剣道部女子全道大会出場 相撲部全道大会準優勝 当別町140年記念パレード、 記念式典参加 校舎・体育館耐震化工事完了 バックネットの改修工事完了 JR学園都市線電化開業記念イベント参加 生徒トイレ改修 電子黒板・書画カメラ設置 弁華別中学校閉校により本校に統合 小中一貫教育開始 剣道部全道新人戦準優勝 卓球部管内新人戦優勝</p>
---	---	--	--

教育目標

- |                       |     |           |
|-----------------------|-----|-----------|
| ◇ 真剣に学び 自己を高めよう       | 【知】 |           |
| ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう    | 【徳】 | 精 神       |
| ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう     | 【意】 | 「優しく 強く」  |
| ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう | 【徳】 | (昭和63年制定) |
| ◇ 身体を鍛え たくましくなろう      | 【体】 |           |

<p>経営の重点</p>	<p>【小中一貫教育による確かな学力の定着と向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中一貫の考えに立ち、9年間を見通した学習指導の充実</li> <li>◆ 全国学力学習状況調査で全国平均を上回る指標をもった授業の取組</li> <li>◆ 課題解決に向け、小中の授業交流・研究からの授業改善</li> <li>◆ 個に応じたきめ細かな指導や家庭学習の習慣化</li> <li>◆ 個々のニーズに応じた特別支援教育の実施</li> </ul> <p>【個を伸ばし、豊かな人間性・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 児童会・生徒会の連携を図った体験活動やボランティア活動の充実</li> <li>◆ 挨拶、言葉遣い、マナーなど、基本的な生活習慣の徹底</li> <li>◆ 自尊感情・自己肯定感を育む体験活動の実施と道徳指導の充実</li> <li>◆ いじめ・不登校未然防止・早期解決、生徒指導と教育相談の充実</li> <li>◆ 文化環境整備や美化活動の推進、自己実現を目指した進路指導の充実</li> </ul> <p>【命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中一貫の考えに立った児童生徒の体力の実態把握と体力向上の取組</li> <li>◆ 食育の授業や健康相談などを通じた健康教育の推進</li> <li>◆ 様々な危険を予測し、回避力を育成する安全・防犯指導及び訓練の実施</li> </ul> <p>【命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 家庭・地域・関係機関と連携した生活習慣づくり、安全対策・情報発信</li> <li>◆ 学校運営協議会の活性化</li> </ul>																														
<p>研究主題</p>	<p>《 学 校 課 題 》 自ら進んで主体的に活動する生徒の育成</p> <p>《 研 究 主 題 》 「生き生きと学び、表現できる生徒の育成」 ～ 学びの連続性と指導の系統性を重視して ～</p>																														
<p>特色ある教育活動</p>	<p>(1) 小中一貫教育（小学校登校、乗り入れ授業、合同集会、小中交流会、部活動体験、合同研修）やコミュニティー・スクールの活用</p> <p>(2) 数学、理科、英語でT T・少人数学習・習熟度別授業を実施</p> <p>(3) 全校的に日常の朝読書・自習、週末課題への取り組み、放課後学習会、補習の実施</p> <p>(4) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ</p> <p>(5) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施</p> <p>(6) 部活動については体育系6部、文化系2部 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏</p>																														
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>3</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>0</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>3</td> <td>206</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	31	34	36	3	104	女子	39	32	31	0	102	合計	70	66	67	3	206
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	31	34	36	3	104																										
女子	39	32	31	0	102																										
合計	70	66	67	3	206																										
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <p>校長 中村伸次 教頭 小森 享</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名 一貫教育推進講師1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																														

# 西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



**【校章の意味】**

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

〒061-3776

北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地

電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

校歌

<p>三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p>二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p>一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>
---	---	--

沿革の概要

<p>昭和26年</p>	<p>獅子内小学校・太美小学校が合併して西当別小学校設立 新校舎落成・移転 校章制定</p>	<p>平成16年</p>	<p>ハマナス50本植樹 (朝日新聞社より寄贈)</p>
<p>27年</p>	<p>西当別小学校校歌制定</p>	<p>18年</p>	<p>文部科学省指定の「小中連携事業」開始(2か年)</p>
<p>32年</p>	<p>校舎増築、屋内体育館完成</p>	<p>19年</p>	<p>国際理解教育開始(ALTとの学習) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)</p>
<p>36年</p>	<p>開校10周年記念式挙行</p>	<p>22年</p>	<p>当別町青少年善行賞受賞 (リングブル・エコキャップ収集) 当別町140年記念パレード見学、記念式典参加(5年生)</p>
<p>46年</p>	<p>開校20周年記念式挙行</p>	<p>23年</p>	<p>大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付</p>
<p>48年</p>	<p>増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、放送室、保健室)</p>	<p>24年</p>	<p>JR 電化祝賀式典参加</p>
<p>50年</p>	<p>北海道小中学校放送教育研究大会開催</p>	<p>26年</p>	<p>西当別地区プレイハウスが西当別小学校内へ移転</p>
<p>56年</p>	<p>開校30周年記念式・祝賀会</p>	<p>27年</p>	<p>電子黒板・書画カメラ設置</p>
<p>57年</p>	<p>新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室)</p>	<p>28年</p>	<p>一貫教育推進講師配置 (西当別中学校と兼務) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)</p>
<p>58年</p>	<p>新体育館落成式・祝賀会</p>	<p>29年</p>	<p>レクサンド市教育委員会視察団訪問 小中一貫教育開始 旧校舎屋根改修工事 西当別コミュニティスクール開始</p>
<p>62年</p>	<p>開校記念日指定・祝賀会</p>	<p>30年</p>	<p>全国いじめ問題子どもサミット参加 授業改善推進チーム活用事業開始 体育館屋根改修工事 当教研学校課題研究発表会開催</p>
<p>平成元年</p>	<p>グラウンド改修工事</p>		
<p>3年</p>	<p>高岡小学校本校へ統合</p>		
<p>6年</p>	<p>増築校舎落成式・祝賀会</p>		
<p>7年</p>	<p>プレハブ校舎4教室完成</p>		
<p>8年</p>	<p>増築校舎完成式 (普通教室8・音楽室・図工室) 学校給食開始</p>		
<p>9年</p>	<p>「たんぼ学級」設置</p>		
<p>13年</p>	<p>新学校教育目標制定 開校50周年記念式・祝賀会</p>		
<p>14年</p>	<p>視聴覚室改修</p>		
<p>15年</p>	<p>児童図書管理コンピューター化</p>		

教育目標

- ◇ 心ゆさぶる感性 <心> ・のびのび語り合う子
  - ◇ 学び求める知性 <学び> ・ぐんぐん学び合う子
  - ◇ 生き方を磨く個性 <生き方> ・もりもりきたえ合う子
- [平成13年3月改定]



経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆小中一貫教育の推進</li> <li>◆確かな学びづくり 基礎・基本的事項の確実な習得を徹底した学力の向上</li> <li>◆豊かな心づくり 温かい笑いのある人間関係づくりの推進</li> <li>◆健やかな体づくり 体力の向上と健康安全教育の推進</li> <li>◆一人ひとりを大切にされた特別支援教育の充実</li> </ul>																																													
研究主題	<p>≪ 重点指標 ≫ 「チーム西当小の協働と他機関との連携」</p> <p>≪ 研究主題 ≫ 「自他を認め、考えを深めることができる子どもの育成【国語科】」</p>																																													
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年の算数と低学年国語でT T指導、3～6年算数で習熟度別少人数指導を実施</li> <li>・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む</li> <li>・学生ボランティアSATを活用した授業の実施</li> <li>・一貫教育推進講師の活用（算数、理科、英語）</li> <li>・授業改善チームの有効な活用</li> </ul> </li> <li>2 <b>地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用</li> </ul> </li> <li>3 <b>NPOと取り組む環境教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など）</li> </ul> </li> <li>4 <b>活発に行われる読書活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み</li> </ul> </li> <li>5 <b>生き生きと展開する児童会活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」</li> <li>・リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」</li> </ul> </li> <li>6 <b>基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動</li> <li>・6年生の中学校登校、授業体験</li> <li>・小中合同クリーン作戦、芸術鑑賞会、いじめ集会など合同行事の開催</li> </ul> </li> </ol>																																													
学級編制	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>13</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>28</td> <td>3</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>12</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>28</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>44</td> <td>5</td> <td>251</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援級	合計	学級数	1	2	1	2	2	2	2	12	男子	13	22	14	25	23	28	3	128	女子	12	21	21	23	28	16	2	123	合計	25	43	35	48	51	44	5	251
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援級	合計																																						
学級数	1	2	1	2	2	2	2	12																																						
男子	13	22	14	25	23	28	3	128																																						
女子	12	21	21	23	28	16	2	123																																						
合計	25	43	35	48	51	44	5	251																																						
教職員	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <p>校長 伊東優子      教頭 藤井康博</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 一貫教育推進講師1名      特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名      学校管理人1名</p>																																													



# 西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



**【校章の意味】**

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

〒061-3772  
 北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1  
 電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

校歌

作詞・作曲 倉島 繁

一 石狩の 潮騒遠く  
 夕映えの 広ごるほとろ  
 厳かしく 立てる学び舎  
 西当別 われらのふるさと

二 緑なす 森の梢に  
 先人の 功徳びつ  
 集い合う 若人われら  
 西当別 われらのふるさと

三 涼風は 垂穂にそよぎ  
 行く水は 広野うるほす  
 豊けしや みのりの里わ  
 西当別 われらのふるさと

四 大いなる 恵の朝  
 われら今 光を受けて  
 踏み分けん 真の長道  
 西当別 われらのふるさと

沿革の概要

昭和 22年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に	平成 14年	全道陸上砲丸投げ3位(個人) 全道陸上110mH3位(個人)
23年	校章制定、独立校舎落成	15年	全道新体操優勝(個人) 全道水泳50m自由形3位、100m自由形2位(個人)
25年	高岡分校設置		全国新体操準優勝(個人)
26年	旧校歌制定	16年	全道ソフトボール大会3位
31年	体育館落成	17年	新教育目標設定
32年	開校10周年式典	18年	全道ソフトボール大会3位
38年	高岡分校独立		18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会
42年	開校20周年式典	19年	道「青少年の主張」大会優秀賞(個人)
43年	高岡中学校統合	20年	石狩管内教育実践奨励賞受賞
46年	町プール校地に設置	21年	モンゴル国教育視察団訪問
49年	スクールバス運行	22年	ESD 日米教員交流団来校 体育館耐震改修工事
51年	石狩管内教育実践奨励賞受賞	23年	当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会
52年	開校30周年式典	25年	体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事
54年	体育館落成	26年	校務用生徒用パソコン更新
56年	新校舎落成記念式典	27年	電子黒板・書画カメラ設置
57年	校舎落成記念植樹 グラウンド完成	29年	小中一貫教育開始 開校70周年
平成 4年	学校週5日制開始	30年	全国いじめ問題子どもサミット参加
8年	学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(個人)		
9年	開校50周年式典・スウェーデン訪問		
11年	全道剣道大会3位(個人)		
12年	増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)		
13年	特殊学級設置・10学級編制		
14年	全道新体操準優勝(個人)		

教育目標

ここ西当別の大地で、

- ◇ 高い知性 (知)
- ◇ 強い意志 (徳)
- ◇ 健やかな体 (体)

を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

経営の方針と重点	<p>&lt;経営の方針&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「不易と流行」の精神で西中の教育活動を推進</li> <li>「規律と温もり」のある学校づくり</li> <li>「信頼関係」を大切にした学校経営への全職員の参画</li> </ol> <p>&lt;経営の重点&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>教職員の和と輪、信頼と相互の協働による教育活動</li> <li>教職員の使命感、危機管理意識の向上と共通理解による共通指導</li> <li>生徒の成長を検証する評価と情報発信の充実</li> <li>保護者・地域関係機関との連携を密にした開かれた学校</li> <li>新学習指導要領の実施に向けた教育課程の管理</li> <li>小学校との連携によるCSとの関連を持たせた小中一貫教育推進</li> <li>働き方改革アクションプランの取り組み推進</li> </ol>																														
研究主題	<p>《 研究 主 題 》</p> <p>自らの考えを表現し、学びあう児童生徒の育成</p> <p>～ 考え、議論する道徳の実践と適切な評価方法の構築 ～</p>																														
特色ある教育活動	<p>①小中一貫教育 学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会 乗り入れ授業・合同研修など</p> <p>②朝読書 全学年年間を通した朝読書の実施</p> <p>②生徒会活動 いじめ撲滅の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピースマイルプロジェクト（支え助け合う仲間づくり）の実践、</li> <li>・小中合同いじめ撲滅集会・撲滅宣言</li> <li>・一貫教育・CS連携事業</li> <li>・校区内小中合同クリーン作戦</li> <li>・挨拶運動</li> </ul>																														
学級編制	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <table border="1" data-bbox="279 1429 960 1639"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>31</td> <td>1</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	23	20	31	1	75	女子	20	22	19	0	61	合計	43	42	50	1	136
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	23	20	31	1	75																										
女子	20	22	19	0	61																										
合計	43	42	50	1	136																										
教職員	<p style="text-align: right;">令和元年5月1日現在</p> <p>校長 野村 誠      教頭 江連 誠二</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員2名      非常勤講師2名 一貫教育推進講師2名 特別支援教育支援員2名      事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																														

### ➤ 3 小中一貫教育

#### 【授業】

重点	取組	取組目的及び内容
主体的・対話的 で深い学びの実現	グループ セッション	小学校6年生と中学校1年生による合同授業。グループ内で中学生を講師とし、授業や生活等について意見を交換し、互いの理解を図る中で思考力や表現力、自己有用感を高める。
	中学校生活の体験	小学生が中学校の日課のもと、授業や部活動、行事に参加し、中学生生活への理解と主体性を高める。
	専科授業	中学校の教員が小学校で授業を実施し、小学生の基礎的な力を高めるとともに、中学校の授業方法についても理解を図る。(今年度は、英・数・体・音等で実施予定)
	小中一貫教育 推進講師の配置	町の非常勤職員である小中一貫教育推進講師4名を小・中学校に派遣。(算数・数学、理科、外国語) 9か年の連続性や系統性を踏まえた授業を共同(T・T)で行う。 また、教材の作成や小中一貫教育通信による情報発信を行う。

#### 【小学校外国語の先進的取組】

重点	取組	取組内容
新学習指導要領の完全実施 (2年前倒し)	○3、4年生 年間35時間 ○5、6年生 年間70時間 ※時数確保のため、60分授業を実技系教科で週3回実施。 ※1、2年生においても、町独自で年間10時間の授業を実施	1 外国語指導助手(外国人講師3名)を全授業に配置(年間992時間) 2 町独自の小中一貫教育推進講師(外国語)を2名配置(各中学校区1名) 3 各中学校区に外国語専科指導加配教員(2名)を配置

#### 【研修】

重点	取組	取組目的及び内容	当別地区	西当別地区
教員の指導力の 資質向上	校内研究 交流	小中共通した研究主題を設定し、授業力向上を図り学力向上につなげる。	[研究内容] 表現力の育成	[研究内容] 学習規律の一貫性
	小中合同 教職員交 流会	小・中学校の教職員が互いの授業を参観した後、指導法や生徒指導の一貫性について研究協議を行う。	6月17日・ 12月19日 開催予定	6月19日 開催予定
	町教育委 員会主催 の教職員 研修開催	夏季・冬季休業中に今日的教育的課題解決に向け、研修会を開催する。 【夏季研修のテーマ】 1「メタ認知で学ぶ力を高める効果的な学習方法」 2「特別な配慮を必要とする児童・生徒への効果的な指導のポイント」 3「児童虐待について」 4「プログラミング教育の実際～ペッパーを使って」	[夏季] 7月29・30日 [冬季] 12月23日 開催予定	

## 【行事】

重点	取組	取組目的及び内容	当別地区	西当別地区
学校間の協働による豊かな心の育成と地域の活性化	小中合同 芸術鑑賞	小・中学校合同で芸術鑑賞を行う。豊かな感性、創造力、思考力、コミュニケーション能力等の育成を共に図る。	9月10日 開催予定	9月20日 開催予定
	いじめ撲滅 集会の開催	児童会・生徒会が主体となり、地域住民・保護者と共に「いじめ」や「自殺防止」について考える。	7月23日 開催予定	6月24日 開催予定
	クリーン作戦	小・中学生が協同で地域の環境美化に取り組む。その中で、地域の一員であることをはじめ、地域への関心も高める。		5月13日 実施
	スポーツ フェスティバル (S・F) (当別小学校運動会)	「地域に開かれた教育課程」「主体的・対話的・深い学び」を中心に据え、従来の運動会から新たな行事としてS・Fを開催する。	6月8日 開催予定	

## 【学校運営協議会の取組】

重点	取組	取組内容	当別地区	西当別地区
学校運営協議会の充実・活性化(CS)	協議会の開催	地域とともにある学校づくりを推進し、地域と学校が連携して小中一貫教育をサポートするため、学校関係者、保護者及び地域住民から選出された委員が協議を行う。	委員12名 年6回 実施予定	委員21名 年4回 実施予定
	学校評価	保護者・地域住民の意見・要望を学校運営に反映するため、学校運営の点検、評価、助言と承認を行う。	協議会内に学校評価部会を設置し、学校評価を実施	
	児童生徒の生活習慣改善	児童・生徒のメディアに触れている時間が長い現状を踏まえ、学校運営協議会が主体となって、保護者とともに児童の生活習慣改善に取り組む。	○各々の部会で取組を協議する。 ○当別町PTA連合会研究大会で生活習慣改善についての講演を実施	
	コミュニティ・スクールカレンダーの作成	学校や地域行事への参加を促すため、学校、地域の行事を記載したカレンダーを校区内全世帯に配布する。	令和2年度カレンダーを作成	

## ➤ 4 学校給食

### 1 役割

#### (1) 食育の推進

地場産食料を活用することにより、子どもたちが地域を知り、地域の産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」を展開。また、地元農家などと契約して、新鮮な野菜や地元加工品を使用することにより、安全・安心な給食を提供している。

#### (2) 地元高校と食生活改善協議会の連携による新メニューの共同開発

当別高校家政科と食生活改善協議会と連携し、平成29年度より新メニューを共同で開発しており、年に1回、3～4品を提供している。それにより、子どもたちにとっては、地域の高校生の存在感を改めて感じる機会となり、また、高校生にとっては、自分たちの学びの意義を確かめる場となっている。

### 2 給食費

区分	実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)
小学校	1年	176	43,824
	2年	182・183	45,318・45,567
	3年	181・182	46,155・46,410
	4年	181・183	46,155・46,665
	5年	180・182	46,980・47,502
	6年	181・184	47,241・48,024
中学校	1年	181・184	57,377・58,328
	2年	177・180	56,109・57,060
	3年	172・174	54,524・55,158

### 3 学校給食センターの運営

(1) 学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として10名の委員で構成され、学校給食費会計や給食センターの運営に関わる事項について審議している。

教職員4名、保護者3名、学識経験者3名 委員任期2年

(2) 調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス(株)へ委託(業務従事者22名)

### 4 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
建設年度	平成7年12月完成
開設	平成8年1月(平成7年度3学期)
敷地面積	3,625.00㎡(1,096.56坪)
建物面積	1,098.12㎡(332.18坪)
構造	鉄筋コンクリート・鉄骨造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	1,003食(令和元年5月1日現在)

## ➤ 5 保護者支援制度（学校教育）

### （1）就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（令和元年度支給額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	50,600	57,400	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品（H29～）
新入学児童生徒 学用品費等	1年			小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受けた場合は対象外
学用品費（学） 通学用品費（通） 校外活動費（校）	1年	（学）11,520	（学）22,510	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学料
	2年	（学）11,520 （通）2,250 （校）実費	（学）22,510	
	3年		（通）2,250	
	4年		（校）実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,240	37,650	体育授業等に必要な体育実技用具 （スキー、柔道）
	武道用具		7,570	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校の修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学料などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費（H29～）
PTA会費		実費	実費	PTA活動に要する費用として保護者が負担すべき経費（H29～）
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食費の全額
医療費		実費	実費	学校病を発症し、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）をいう。

## (2) 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（令和元年度上限額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	25,300	28,700
学用品・通学用品購入費		5,760	11,255
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,120	18,825
	柔道		3,785
	剣道		26,190
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,825	3,075
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		790	1,145
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,680	28,570
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

## (3) 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。

---

# 社会教育

---

1	重点目標	P26
2	社会教育関係事業	
	(1) 学校教育との連携事業	P26
	(2) 生涯学習推進事業	P28
	(3) 読書活動推進事業	P29
	(4) 生涯スポーツ推進事業	P30
3	社会教育施設	
	(1) コミュニティセンター・文化施設等	P31
	(2) 体育施設	P32

---



➤ 1 重点目標

- 1 多彩な生涯学習プログラムの展開
- 2 読書活動の推進
- 3 学校を核とした地域力強化プラン事業による児童生徒、  
学校支援
- 4 家庭教育支援

※詳細は、P6「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 社会教育関係事業

(1) 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
わくわくキッズ	5月～12月 (月1回 土曜日)	当別小学校 体育館等	小学生	町内の児童に対し、体験活動を通して安全な居場所づくりを行う。
土曜教室	5月～3月 (年10回)	当別子ども プレイハウス 西当別子ども プレイハウス等	小学生	町内の児童に対し、体験的な学習や郷土学習、異年齢交流等の活動を通して、学習する楽しさや達成感を体感させる。
土曜学習会	8月～2月 (年6回)	白樺コミセン 西当別コミセン	中学生	町内の生徒に対し、家庭で行う自発的な学習への取り組みを促進し、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図る。
放課後学習会	4月～3月 小学生：年75回 中学生：年55回	各小・中学校	小学生 中学生	町内の児童生徒に対し、放課後の宿題や自主学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
イングリッシュ・プロジェクト	5月～12月 (年9回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生	町内の児童に対し、様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、英語体験の充実を図る。

<p>こころのふれあい 通学合宿</p>	<p>【第1部】 6月23日 ～6月28日 【第2部】 10月14日 ～10月16日</p>	<p>西当別コミセン</p>	<p>小学 5・6年生</p>	<p>町内の小学校高学年に対し、通学しながら5泊6日（第2部は2泊3日）の集団生活を送ることで、規則正しい生活習慣と自ら考え行動できる力を育む。</p>
<p>当別町小中高大生 TOWN ミーティング</p>	<p>9月～10月</p>	<p>白樺コミセン</p>	<p>町内の 小中・高校生 北海道医療 大学生</p>	<p>町内の児童会・生徒会役員等が集い、課題解決方法の学習等を行い、リーダーとしての資質向上等を図る。</p>
<p>少年の意見発表会</p>	<p>2月1日</p>	<p>ゆとろ</p>	<p>町内の 小・中・高校生</p>	<p>青少年の自覚と自主性を育て、同世代の青少年の意識啓発と、青少年の健全育成に対する大人の実践関心を深める。</p>

## (2) 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
青少年リーダー 養成事業	4月～3月	白樺コミセン等	中学1年 ～ 高校3年	リーダー研修会の参加や地域行事の手伝いを通じ、青少年リーダーを養成する。
ことぶき大学	5月～3月 (全24講座)	白樺コミセン 各見学・体験 ・交流施設等	60歳以上 の町民	体験活動を重視した趣味の講座や、健康や生きがいづくりの講演会、見聞を広める研修視察等を実施する。
北海道医療大学 連携講座	7月～1月 (年6回)	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、大学の知的財産を活かした学習機会の提供を進める。
子育てを考える つどい	7月～3月	各小・中学校 地区会館等	P T A等	講演会、懇談会等を開催し、子育てについて考え、効果的に家庭や地域社会の教育力の向上と充実を図る。
当別町人材バンク	要相談	要相談	町民	自らの知識や技能を活かして活動をする人材バンクを活用し、町内活動団体等への紹介やコーディネートを行う。
町民自主企画講座	4月～3月	白樺コミセン等	町民	町民自らが企画する講座の支援を行う。
当別町文化祭	11月2日 ～11月4日	西当別コミセン	町民	多くの町民の自主的・創造的な発表の機会と、文化に親しむ場を創出する。
歴史学習講座	5月～3月 (年11回)	白樺コミセン 西当別コミセン	町民	当別町の古文書の解読により、当別町開拓の歴史を学ぶ。

### (3) 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
絵本読み聞かせ会	毎月 第2水曜日	学習交流センター	乳幼児 保護者	絵本読み聞かせ会を通して、子どもたちが絵本やおはなしに親しみ、本に触れる環境を提供していく。
ブックスタート	10ヶ月児 健診時	ゆとろ	10ヶ月児 健診を 受診する 親子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
ブックセカンド	6月	各小学校	小学1年生	乳幼児期に育まれた読書への興味・関心を引き継ぎ、読書習慣を育て、さらに家族ぐるみで高めていくことを目的とし、新1年生の入学のお祝いとして自分の選んだ本を1冊プレゼントする。
巡回図書	5月～3月 幼保 子育支援センター (年8回) 小中学校 プレイハウス (年8回)	幼稚園 保育所 ゆとろ 各小・中学校 プレイハウス	幼児 小学生 中学生	子どもの読書活動を充実させるため、町図書室の新規購入図書を幼稚園、保育所、ゆとろ、各小中学校、プレイハウスへ巡回し貸し出しを行う。
学校図書館訪問支援	毎週指定 曜日・時間	各小・中学校	小学生 中学生	町図書室の司書が学校を訪問し、読書環境の整備及び選書のアドバイス等を行う。
とうべつ家読の日	毎月23日		町民	家読の日を広く周知し、家庭で子どもが本に出会い、本に親しむきっかけをつくる。 毎月「家読通信」の発行を行う。

(4) 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
学校開放事業	4月1日 ～3月31日	各小・中学校 体育館 グラウンド	町民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、各小・中学校の体育館・グラウンドを開放する。
ニュースポーツ チャレンジ	4月～3月	要相談	町民	申し込み団体に講師を派遣し、ニュースポーツの体験、啓発に向けた出前教室を実施する。
小中学生のスポーツ 大会参加事業助成	4月～3月		小学生 中学生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
町民スポーツの日	4月～3月 毎月いずれか の日曜日	総合体育館 西当別コミセン	町民	町民の体力向上及び健康増進を目的に、総合体育館及び西当別コミュニティーセンターアリーナの無料開放を行う。
青少年 スポーツの時間	不定期 土曜日 9時～12時	総合体育館 西当別コミセン	町内の 小・中・高 校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、体育館アリーナの無料開放を行う。

### ➤ 3 社会教育施設

#### (1) コミュニティーセンター・文化施設等

##### 白樺コミュニティセンター

※指定管理（ふれスポ with AMB）[平成 28 年 4 月 1 日開始]

所在地 石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1 電話 0133-23-2511 FAX 0133-23-2516  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
施設概要 多目的ホール、大研修室、小研修室、調理実習室、和室（3 室）、談話室

##### 西当別コミュニティセンター

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
施設概要 アリーナ、図書室、大会議室、和室、研修室、会議室、調理室、更衣室、シャワー室

##### 当別町学習交流センター“ふくろう図書館”

所在地 石狩郡当別町錦町 1248 番地 7 電話・FAX 0133-23-0573  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）

##### 西当別コミュニティセンター図書室

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時（火～土は午後 9 時まで）  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）

##### 世紀会館

所在地 石狩郡当別町園生 57 番地 8 電話 0133-23-2896  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
施設概要 洋室、集会室、和室

##### 当別伊達記念館・伊達邸別館

明治 4 年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の礎が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治 13 年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。

所在地 石狩郡当別町元町 105 番地 電話 0133-22-3735  
開館時間 午前 10 時～午後 4 時 30 分  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、冬期間（11 月～4 月まで）  
料金 無料

## (2) 体育施設

屋内施設名	所在地・概要・問合せ先等
当別町総合体育館 ※指定管理(ふれスポ with AMB) [平成28年4月1日開始]	石狩郡当別町白樺町 2792 番地 アリーナ、ランニングコース、トレーニングルーム、弓道場、格技室、更衣室、シャワー室 開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：第1・3月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、 年末年始(12月30日～1月5日) 問合せ先：0133-22-3833
屋外施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 バックネット、フェンス、スコアボード、ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	石狩郡当別町元町 1119 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	石狩郡当別町元町 1119 番地 3 (阿蘇公園内) 土俵1面(屋根付き)、観覧席 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 全天候型コート2面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 クレーコート4面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
当別小学校水泳プール ※指定管理(ふれスポ with AMB) [平成28年4月1日開始]	石狩郡当別町元町 102 番地 25m×6 コース、幼児・低学年用プール、シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6月～9月(月曜日、8/15・16は休館) 利用時間：10時～12時、13時～20時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	石狩郡当別町樺戸町 他(当別川河川緑地) 全18ホール 開設期間：5月～10月(火曜日は整備のため利用不可) 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
あいあい公園パークゴルフ場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 全18ホール 開設期間：5月～10月(月曜日は整備のため利用不可) 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
遊遊公園テニスコート	石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 オムニコート2面 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター

---

# 子育て・幼児教育

---

1	重点目標	P33
2	子育て・幼児教育関係事業	P33
3	子育て・幼児教育施設	P36
4	保護者支援制度	P36

---



➤ 1 重点目標

- 1 家庭と一体となった子育て支援
- 2 幼児教育・保育の充実
- 3 早期療育の推進
- 4 児童虐待の防止

※詳細は、P6「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 子育て・幼児教育関係事業

(1) 特別保育事業

事業	実施場所及び日時	利用料等	対象	概要
延長保育事業	認定こども園 おとぎのくに 当別夢の国幼稚園  18時30分～19時30分	課税世帯 1日300円 (月額上限)2,500円 非課税世帯 1日60円 (月額上限)600円	各施設 利用児童	保護者の就労形態の多様化等により、通常の保育時間を超えて保育の実施が必要な場合に延長保育を行う。
障がい児保育事業	認定こども園 おとぎのくに 当別夢の国幼稚園  4月～3月	無料	各施設 利用児童 (3歳児以上)	心身に障がいや発達に遅れを有する児童に対し、保育士を加配し適切な支援を行うことで、当該児童の心身の健全な発達及び育成を促進する。

事業名	実施場所及び日時	利用料等	対象	概要
一時預かり 事業	〈一般型〉 認定こども園 おとぎのくに 7時30分～18時30分	3歳児未満 1日2,000円 3歳児以上 1日1,500円 非課税世帯無料	1歳6ヵ月～ 就学前	保護者が一時的に家庭での保育が困難な場合等、育児負担の軽減を図るため、児童に対し保育を行う。
	〈幼稚園型〉 認定こども園 おとぎのくに 当別夢の国幼稚園 ①7時30分～8時30分 ②14時45分～18時30分 ③土曜・長期休み	①1日200円 (月上限2,000円) ②1日800円 (月上限10,000円) ③1日1,000円	幼稚園児 及び2歳児	保護者の私用や仕事など希望により、教育時間前後に預かり保育を行う。

## (2) 子ども発達支援センター事業

事業名	実施場所及び日時	利用料等	対象	概要
児童発達 支援事業	子ども発達支援センター 4月～3月	1回1,054円	未就学児	日常生活における基本的動作や知識技能を習得し、集団生活に適用することができるよう、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。
放課後等 デイサービス 事業	子ども発達支援センター 4月～3月	放課後 1回833円 学校休業日 1回953円	就学児	生活能力の向上のために必要な訓練を行う等、社会との交流を図ることができるよう、適切かつ効果的な指導・訓練を行う。
保育所等 訪問支援 事業	保育所等所属施設 4月～3月	単独支援 1回1,136円 複数支援 1回1,057円	子ども発達 支援センター 利用者	保育所等における集団生活に適應することができるよう、当該保育所等において適切かつ効果的な支援を行う。
障害児相談 支援事業	子ども発達支援センター 4月～3月	無料	18歳以下	児童福祉法に基づく障害児通所支援等の利用に必要な障害児支援利用計画等を作成し、サービス担当者会議を開催する。
特定相談 支援事業	子ども発達支援センター 4月～3月	無料	一般	障害者総合支援法及び介護保険法に基づく居宅サービス等の利用に必要なサービス利用計画等を作成し、サービス担当者会議を開催する。

### (3) 学童保育事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
放課後児童健全育成事業 (当別町子どもプレイハウス)	4月～3月 (月～土)  【平日】 下校時～18時  【土・長期休業日】 8時～18時 ※18時～19時は延長保育実施(利用料別途必要)	当別子どもプレイハウス (当別小学校内)  西当別子どもプレイハウス (西当別小学校内)	小学生	仕事等の理由により、放課後等に保護者がいない家庭の児童の保育を行い、安全な環境で集団活動を行う。  【事業内容】 ・学習指導 ・スポーツ活動 ・合同遠足 ・映画鑑賞 ・調理体験 ・ハンドクラフト ・お楽しみ会 ・放課後学習会 等

### (4) 子育て支援事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
子育て支援拠点事業 (当別町子育て支援センター事業)	4月～3月 (月～金)	当別町総合保健福祉センター (機能訓練室等)  認定こども園おとぎのくに内 (すみれルーム)	乳幼児とその保護者	町内の子育て中の親子の交流促進や育児相談、情報提供等きめ細かな子育て支援活動を実施するため、町内2か所に子育て支援センターを設置し、育児者の子育てに対する不安感、孤立感、負担感の解消を目指す。  【事業内容】 ・設定保育事業 あそびのひろば(0歳～6歳までの就学前の子どもと保護者) ・子育て講座 ・育児者リフレッシュ講座 ・子育て支援情報提供 ・子育て相談 等
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	4月～3月		小学生以下の子どもがいる家庭	ファミリー・サポート・センター(地域において子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる会員組織)を設立し、地域の子育ては地域の力で支援する相互協力体制構築により、地域全体で子どもを育てる機運を高め、子育てしやすい環境を整備する。
児童虐待防止事業	4月～3月	認定こども園 各小・中学校	18歳未満の子ども	児童虐待に対する適切な対応、防止、予防及び早期発見その他の児童虐待防止に関する啓発を行う。

### ➤ 3 子育て・幼児教育施設

---

子ども発達支援センター
-------------

所在地	石狩郡当別町西町 32 番地 1 障害児通所支援事業所 電話・FAX 0133-23-3009 障害児相談支援・特定相談支援事業所 電話 0133-23-2788
開設時間	午前 8 時 45 分 ～ 午後 5 時 15 分
休所日	土・日曜日、祝日、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）
施設概要	個別指導室、集団指導室、相談室、検査室、事務室

### ➤ 4 保護者支援制度（子育て・幼児教育）

---

#### (1) 私立幼稚園助成費

【 対象施設：学校教育法に基づく私立幼稚園（※新制度に移行した幼稚園を除く） 】

##### (ア) 就園奨励費補助金

私立幼稚園に通園する幼児の保護者の経済的負担の軽減と公・私立間の保護者負担の格差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った私立幼稚園に対し、補助金を交付する。

#### (2) 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

##### (ア) 施設型給付費

保護者の経済的負担を軽減するため、児童 1 人の教育・保育にかかる費用の額と当該児童に係る利用者負担額の差分を教育・保育施設に対し、施設型給付費を支給する。

また、利用者負担額は、町民税所得割額に応じ、保育所については既存の保育料と比較し、幼稚園については就園奨励費を考慮し、増額とならないよう設定している。

##### (イ) 特別保育事業補助金等

多様な教育・保育ニーズへの対応を図るため、延長保育事業、障がい児保育事業、一時預かり事業を実施している保育所等に対し、補助金等を交付する。

##### (ウ) 3 才未満児第 2 子無償化事業

保育認定を受けた 3 才未満児の第 2 子を対象に、利用者負担額を無償化し子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもを産み育てやすい環境の充実を図る。

#### (3) 幼児教育・保育の無償化

【 対象施設：幼稚園・保育園・認定こども園・預かり保育・認可外保育施設等・就学前の障がい児発達支援施設など 】

令和元年 10 月より、3～5 歳児（幼稚園は満 3 歳児を含む。）と住民税非課税世帯の 0～2 歳児を対象に、利用者負担額を無償化し子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

また、幼稚園の預かり保育や認可外保育施設等についても、保育の必要性の認定を受けることで利用料が無償となる。（上限あり）

---

# 資 料

---

1	教育委員	P37
2	組織図・分掌事務	P39
3	関係各種委員	P40
4	関係各種団体	P46
5	指定文化財一覧	P48
6	教育の沿革	P49
7	統計データ	P55

---

## ➤ 1 教育委員

### 【教育委員】

令和元年6月1日現在

職名	氏名	就任年月日
委員 (教育長職務代理者)	武岡和廣	平成22年10月1日就任 [3期]
委員	寺田郷子	平成23年12月15日就任 [2期]
委員	小林泰雄	平成24年10月1日就任 [2期]
委員	佐々木成尉	平成29年11月1日就任 [1期]

### 【教育長】

令和元年6月1日現在

職名	氏名	就任年月日
教育長	本庄幸賢	平成25年10月1日就任 [2期]

### 【歴代教育長】

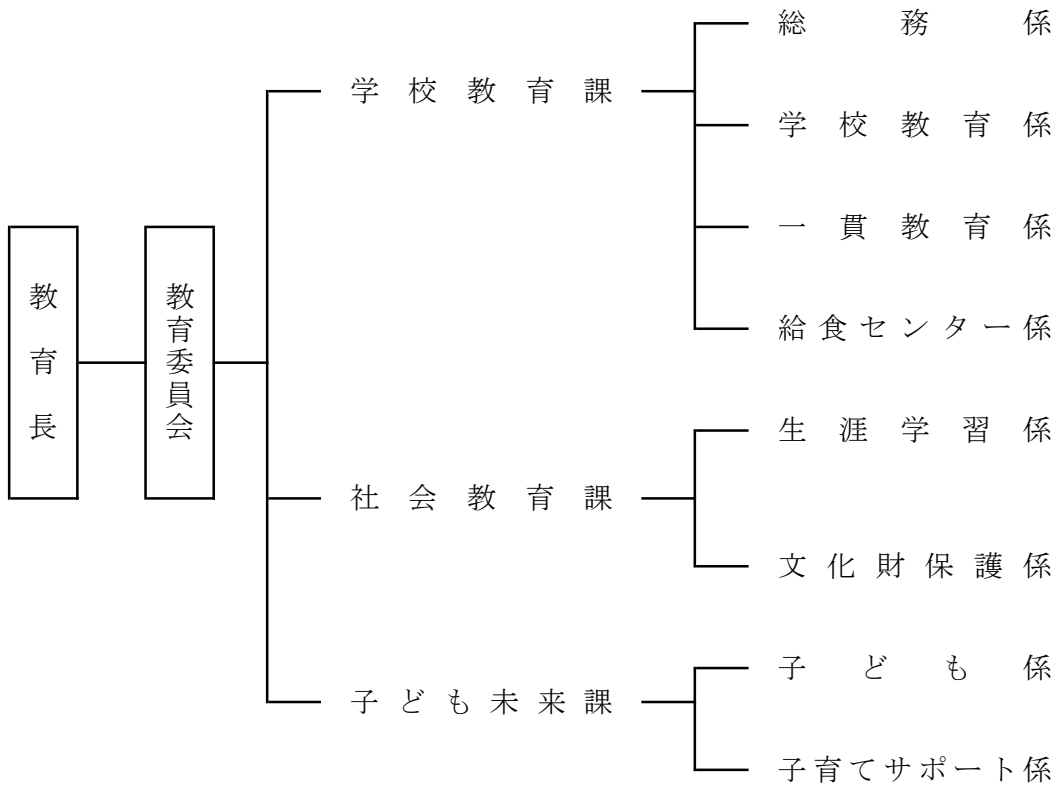
歴代	氏名	就任期間
初代	山田 勇	昭和27年11月1日～昭和28年1月7日
2代	高橋 鋼三郎	昭和28年1月8日～昭和32年2月14日
3代	久永 善治	昭和32年2月17日～昭和38年3月31日
4代	高砂 正清	昭和38年4月1日～昭和51年6月10日
5代	佐藤 晴之	昭和51年6月21日～昭和61年8月5日
6代	有澤 楨雄	昭和61年8月13日～平成9年8月22日
7代	藤中 彰二	平成9年8月25日～平成13年9月30日
8代	高橋 義	平成13年10月1日～平成21年9月30日
9代	山内 秀治	平成21年10月1日～平成25年9月30日
10代	本庄 幸賢	平成25年10月1日～平成28年9月30日
		平成28年10月1日～現在 [新教育長]

※平成28年10月1日より新教育委員会制度に移行。

【 教育委員活動状況 】

活 動 名	活 動 日	場 所	備 考
平成30年第5回定例会	平成30年 4月18日	役場会議室	
教育委員視察研修	平成30年 4月25日	札幌市	札幌市立屯田小学校
北海道町村教育委員会連合会 平成30年度総会	平成30年 5月10日	札幌市	北海道町村教育委員会 連合会主催
第6回定例会	平成30年 5月16日	役場会議室	
校長・教頭合同研修会	平成30年 6月13日	役場会議室	当別町小中学校長会・ 当別町教頭会主催
第7回定例会	平成30年 6月29日	役場会議室	
北海道市町村教育委員研修会	平成30年 7月12日	札幌市教育 文化会館	北海道町村教育委員会 連合会主催
第8回定例会	平成30年 7月18日	役場会議室	
第9回臨時会	平成30年 8月 1日	役場会議室	
第10回定例会	平成30年 8月22日	役場会議室	
市町村教育委員研究協議会	平成30年 9月21日	札幌市	文部科学省主催
第11回定例会	平成30年 9月14日	役場会議室	
第12回定例会	平成30年10月17日	役場会議室	
石狩管内教育委員会委員研修会	平成30年10月30日	北広島市	石狩管内教育委員会 協議会主催
第13回定例会	平成30年11月21日	役場会議室	
第14回定例会	平成30年12月19日	役場会議室	
当別町成人式	平成31年 1月13日	総合体育館	
平成31年第1回定例会	平成31年 1月16日	役場第二庁舎	
当別町少年の意見発表会	平成31年 2月 2日	ゆとろ	
第2回定例会	平成31年 2月20日	役場会議室	
当別町教育委員会表彰式	平成31年 2月23日	ゆとろ	
第3回臨時会	平成31年 3月 7日	役場会議室	
第4回定例会	平成31年 3月28日	役場会議室	

## ➤ 2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務



### 【学校教育課】

- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

### 【社会教育課】

- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

### 【子ども未来課】

- ・ 子育て支援施策の計画及び推進に関すること
- ・ 幼児教育及び保育に関すること
- ・ 子ども発達支援センターに関すること
- ・ ファミリーサポートセンターに関すること
- ・ 子どもプレイハウスに関すること
- ・ その他子育て支援に関すること



### ➤ 3 教育関係各種委員

#### (1) 当別町教育支援委員会

各委員：令和元年6月1日現在

教育支援委員会委員			
氏名	選任区分	所 属	
前田 史郎	第1号委員	医師	とうべつ内科クリニック
中村 伸次	第2号委員	学識経験者	当別町立当別中学校
伊東 優子	第3号委員	特別支援学級設置校校長	当別町立西当別小学校
大久保 由希恵	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
武田 あゆみ	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
長田 真美	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
三浦 ゆかり	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
伊藤 千織	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
石田 敬司	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
川崎 弘子	第4号委員	特別支援教育担当教諭	北海道拓北養護学校
長谷川 恵子	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町福祉部保健福祉課
五十嵐 京湖	第5号委員	児童福祉関係職員	認定こども園おとぎのくに
砂田 敦子	第5号委員	児童福祉関係職員	認定こども園当別夢の国幼稚園
門脇 一恵	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町子ども発達支援センター
教育支援委員会専門委員			
大久保 由希恵	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校	
武田 あゆみ	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校	
長田 真美	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校	
三浦 ゆかり	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校	
伊藤 千織	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校	
石田 敬司	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校	

[任期] 令和元年5月1日～令和3年4月30日

#### (2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員		
氏名	選任区分	所 属
永井 康義	特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校
大久保 由希恵	特別支援学級設置校教職員	当別町立当別小学校
三浦 ゆかり	特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校
伊藤 千織	特別支援学級設置校教職員	当別町立当別中学校
佐々木 孝行	特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別中学校

特別支援教育専門家委員			
氏名	選任区分	所 属	
西 基	第1号委員	精神科、神経科、小児科等の医師	北海道医療大学
菅原 博子	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
青山 眞二	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	北海道教育大学教育学部札幌校
音羽 孝文	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	石狩教育局教育支援課義務教育指導班

[任期] 令和元年5月1日～令和3年4月30日

(3) 当別町いじめ問題調査委員会

氏名	分野	職能区分	所属
武田 亘 明	教育	生涯学習	札幌市立大学デザイン学部デザイン学科
縄野 歩	法律	弁護士	札幌弁護士会
瀧澤 紫 織	医療	精神科医	江別すずらん病院
富家 直 明	心理	臨床心理士	北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科
福間 麻 紀	福祉	社会福祉士	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 平成30年5月1日～令和2年4月30日

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）				
学校名	内科医		耳鼻科医	眼科医
当別小学校	1～4年	前田 史郎	原田 克己	小林 和夫
	5～6年	小野寺 晃彦		
西当別小学校	1～4年	奥山 茂樹	佐伯 昌彦	
	5～6年	朴 昶勲		
当別中学校	全学年	澤崎 孝司	原田 克己	
西当別中学校	全学年	朴 昶勲	佐伯 昌彦	

学校歯科医・学校薬剤師			
学校名	歯科医		薬剤師
当別小学校	1～4年	齊藤 正人	片岡 芳仁
	5年	田西 和伸	
	6年	黒澤 遠奈	
西当別小学校	1～2年	相良 昌宏	田西 洋三
	3～6年	千葉 逸朗	
当別中学校	全学年	飯嶋 雅弘	片岡 芳仁
西当別中学校	1～2年	秀 誠司	田西 洋三
	3年	相良 昌宏	

[任期] 平成31年4月1日～令和2年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会

職名	氏名	選任区分
委員長	野村 誠	教職員
副委員長	若林 公一	教職員
委員	佐藤 妙子	教職員
監事	加藤 正	教職員
監事	佐渡 智美	保護者
委員	泉 亭英徳	保護者
委員	開 沼文孝	保護者
委員	田西 洋三	学識経験者
委員	稲村 時子	学識経験者
委員	見原 美智子	学識経験者

[任期] 平成29年12月22日～令和元年12月21日

## (6) 当別町学校運営協議会

氏名	区分	所属	
【当別地区】			
野口和之	第1号委員	地域住民	
武田章子	第1号委員	地域住民	
山田健太	第1号委員	地域住民	
小田島正高	第1号委員	地域住民	
難波雅美	第1号委員	地域住民	
長谷部直樹	第1号委員	地域住民	
加藤勇二	第1号委員	地域住民	
松岡宏尚	第1号委員	地域住民	
泉亭英徳	第2号委員	保護者	当別小学校PTA
稲村英樹	第2号委員	保護者	当別中学校PTA
小松芳幸	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
砂田敦子	第4号委員	その他必要と認めるもの	認定こども園当別夢の国幼稚園
【西当別地区】			
石田洋三	第1号委員	地域住民	
大坪圭子	第1号委員	地域住民	
新森道博	第1号委員	地域住民	
山田佳秀	第1号委員	地域住民	
泉亭智則	第1号委員	地域住民	
金子景次郎	第1号委員	地域住民	
袴田万紀子	第1号委員	地域住民	
曾川昭治	第1号委員	地域住民	
佐々木彦治	第1号委員	地域住民	
佐々木健児	第1号委員	地域住民	
開沼文孝	第2号委員	保護者	西当別小学校PTA
吉野裕宜	第2号委員	保護者	西当別中学校PTA
若命泰寛	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
五十嵐京湖	第4号委員	その他必要と認めるもの	認定こども園おとぎのくに
仲保智宏	第4号委員	その他必要と認めるもの	太美駐在所
藤井康博	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校
江連誠二	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校
細貝弘則	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校
大浦美保子	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校
佐々木孝行	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校
石田敬司	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校

[任期] 平成29年10月1日～令和元年9月30日（当別地区）

平成29年11月1日～令和元年10月31日（西当別地区）

## (7) 当別町文化財調査審議会

職名	氏名	選任区分
会長	鎌田望	学識経験者
副会長	梅枝正春	学識経験者
委員	倉田守	学識経験者
委員	渡部泰夫	学識経験者
委員	大口弘美	学識経験者

[任期] 平成29年12月20日～令和元年12月19日

## (8) 当別町社会教育委員会

職名	氏名	選任区分
委員	浜上尚也	学識経験者
委員	渡邊久徳	学校教育関係者
委員	中村伸次	学校教育関係者
委員	近藤留美	社会教育関係者
委員	曾川昭治	社会教育関係者
委員	伊藤美穂子	社会教育関係者
委員	後藤尚範	社会教育関係者
委員	吉野裕宜	家庭教育活動者
委員	泉 暁	家庭教育活動者
委員	川合秋夫	学識経験者

[任期] 平成31年4月24日～令和3年4月23日

## (9) 当別町子ども読書活動推進委員会

職名	氏名	所属
委員長	渡辺泰夫	学識経験者
副委員長	金木雅美	当別町教育委員会子ども未来課
委員	吉田友恵	認定こども園おとぎのくに
委員	文字絵里子	認定こども園当別夢の国幼稚園
委員	佐藤千草	当別小学校
委員	佐藤宏美	西当別小学校
委員	小笠原正恵	当別中学校
委員	佐藤友香	西当別中学校
委員	原 晴子	当小絵本読み聞かせ隊

[任期] 平成30年10月1日～令和2年9月30日

## (10) 当別町スポーツ推進委員会

職名	氏名	分担事項
委員長	野口和之	野球、バスケットボール、ゴルフ、パークゴルフ、スナッグゴルフ
副委員長	浜上尚也	スキー、サイクリング、コーディネーション
委員	伊藤美穂子	水泳、ミニバレー、テニス、コーディネーション
委員	石澤ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール、コーディネーション
委員	日光正博	スキー、パークゴルフ、バレーボール、コーディネーション
委員	須藤 豪	サッカー、コーディネーション
委員	木村純一	剣道、フライングディスク
委員	並川憲多	野球、サッカー
委員	栄木龍也	サッカー、軽スポーツ
委員	斉木隆義	陸上、野球
委員	中多美幸	ミニバレー
委員	石川美香	剣道、水泳、スキー、スケート
委員	田村直紀	ミニバレー、バドミントン
委員	菅野敬正	陸上、トライアスロン
委員	谷口洋人	陸上、ミニバレー

[任期] 平成30年5月1日～令和2年4月30日

## (11) 当別町少年指導センター

青少年健全育成協議委員	
氏名	関係機関・団体
冷川 裕美子	当別町民生児童委員協議会
石澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鰐渕 真太郎	当別町PTA連合会
吉野 裕宜	当別町子ども会育成連合会

[任期] 令和元年5月26日～令和2年5月25日

少年指導委員	
氏名	関係機関・団体
<b>【当別地区】</b>	
小林 茂行	当別小学校
本間 哲善	当別中学校
小野里 司	当別高等学校
佐藤 政彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鰐渕 亜紀子	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
後藤 尚範	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
棒田 克幸	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
向井 久美子	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
石澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
岩渕 博之	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
佐藤 護	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
長谷川 廣美	当別町民生児童委員協議会
並川 憲多	当別小学校PTA
寺島 丈	当別中学校PTA
遊佐 博憲	樺戸町青少年育成会
佐藤 太一郎	春日町青少年育成会
村瀬 順子	緑町青少年育成会
<b>【太美（西当別）地区】</b>	
吉沢 亜紀	西当別小学校
吉田 地麻呂	西当別中学校
山上一郎	当別町民生児童委員協議会
藤田 力	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
鈴木 章造	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
宮本 勝則	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
川嶋 淳	北海道札幌方面北警察署少年補導員連絡協議会当別支部
須藤 孝明	西当別小学校PTA
土岐 信行	西当別中学校PTA
林 剛	太美南町内会
永井 鈴菜	太美東町内会育成部
土岐 亜美	太美中央町内会育成部

[任期] 令和元年5月26日～令和3年5月25日

(12) 当別町子ども・子育て会議

氏名	区分	所属
金澤潤一郎	第1号委員	学識経験 北海道医療大学
渡邊久徳	第1号委員	学識経験 当別町小中学校長会
難波雅美	第2号委員	関係団体 当別町民生児童委員協議会
五十嵐京湖	第2号委員	関係団体 認定こども園おとぎのくに
砂田敦子	第2号委員	関係団体 認定こども園当別夢の国幼稚園
湯川正雄	第2号委員	関係団体 社会福祉法人 ゆうゆう
泉暁	第3号委員	保護者 当別町PTA連合会
瀬戸郁裕	第3号委員	保護者 認定こども園当別夢の国幼稚園PTA
上杉堯央	第3号委員	保護者 認定こども園おとぎのくにPTA
明石実	第4号委員	公募
辻野浩	第4号委員	公募
高橋昭大	第4号委員	公募
津崎弘樹	第4号委員	公募

[任期] 平成29年10月1日～令和元年9月30日

(13) 当別町要保護児童対策地域協議会

氏名	区分	所属
山下勝也	行政	当別町福祉部保健福祉課
辻野幸一	行政	当別町福祉部介護課
北村和也	行政	当別町教育委員会学校教育課
石川公隆	行政	当別町教育委員会社会教育課
渡辺典子	行政	北海道中央児童相談所
深津恵美	行政	北海道石狩振興局保健環境部
渡邊久徳	学校	当別町小中学校長会
泉暁	学校	当別町PTA連合会
五十嵐京湖	認定こども園	認定こども園おとぎのくに
砂田敦子	認定こども園	認定こども当別夢の国幼稚園
袴田万紀子	民生委員児童委員	当別町民生児童委員協議会
堀内教子	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
橋本俊一	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
宮崎直高	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
篠田貴子	警察	札幌方面北警察署当別交番
前田史郎	医療機関	江別医師会当別ブロック

[任期] 平成31年4月1日～令和3年3月31日

## ➤ 4 教育関係各種団体

### (1) 当別町文化協会 加盟団体

令和元年6月1日現在

区分	団体名	会員数
民謡	當香会 民謡の部	6
詩吟	日本詩吟学院岳風会 太美道場	5
琴	大正琴 さくら琴の会	3
舞踊	西川流舞踊教室 当別鯉延会	12
	正派菊乃流菊ゆう会	6
	ひょっとこ踊り 玉福	5
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ	4
	子供の為のジャズダンスサークルSKIP	21
	アロハフラーズ	13
音楽	花舞	14
	ハーラウ・フラ・オ・ナーレイヒバ・ポーラニ	18
	当別町カラオケ連合会	51
	太美カラオケ愛好会	15
	東裏カラオケ愛好会	10
	當香会 カラオケの部	16
	レディース・ハーモニー	14
	当別混声合唱団 パストラルクワイヤ	27
	チェリーベル	6
	当別アンサンブルファミリー	32
郷土芸能	OJB	10
	プア ピリカ アンド パル	7
	当別音頭を守る会	156
	とうべつ太鼓保存会	4
茶華道	とべのすけ すずめ踊り隊	30
	当別華道連盟	8
	当別裏千家茶道同好会	8
書道絵画	西当別茶道教室	10
	いけ花 池坊	8
	彩苑書道会	9
	太美書道教室	9
生活文化	当別写真同好会	6
	スエタ手芸教室	21
	クレイ.クラフト.フラワー	2
	アートフラワー長谷川	5
	和裁サークル	8
	パッチワークサークル	4
	あい染サークル遊染	5
	ぽかゆるたいむ	4
	太美ヨガサークル	15
	日本棋院当別支部	21
文芸	スタジオ・アルメリア	7
	当別短歌会	6
合計		42 団体 641 名



## (2) 当別町体育協会 加盟団体

令和元年6月1日現在

協会・連盟名	会員数	協会・連盟名	会員数
陸上競技協会	4	スキー連盟	55
軟式野球連盟	122	サッカー連盟	51
バレーボール協会	23	相撲国技会	25
弓道連盟	13	ソフトボール協会	19
卓球協会	86	テニス協会	27
バスケットボール協会	340	バウンドテニス協会	37
剣道連盟	63	ミニバレー協会	30
柔道連盟	6	パークゴルフ協会	200
合計			16団体 1,101名

## (3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体

令和元年6月1日現在

地区名	会員数	会員世帯数	地区名	会員数	会員世帯数
幸町	休会		樺戸町	休会	
北栄町	25	18	東裏	14	12
アウル	67	51	蔵岱	休会	
西町	43	30	若葉	休会	
元町	12	6	川下	休会	
緑町	10	8	太美北	44	30
東町	休会		太美寿	休会	
春日町	32	10	太美東	40	24
栄町	12	8	太美西	休会	
下川町	休会		太美中央	休会	
六軒町	休会		太美南	13	6
弁華別	休会		当別太ビトエ川下	12	7
茂平沢	休会		虹の子	休会	
みどり野	14	7	スウェーデンヒルズ	77	43
中小屋	休会		スターライト	38	28
金沢	休会				
合計			15地区	453名	288世帯

## (4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体

令和元年6月1日現在

所 属	会員数
生活改善実践グループ	34
当別音頭を守る会	156
合計 2団体 190名	



## ➤ 5 指定文化財一覧

### 【有形】

令和元年6月1日現在

指定番号	品名	種別	指定・登録年月日	所在場所	摘要
1	伊達綱宗画筆対三幅	有形文化財	S 50.7.5	元町 伊達美知子氏が所有	伊達綱宗(寛永17年1640～正徳元年没1711年) 66才(宝永2年1705年)の画いたもので伊達正人が明治25年(1892年)三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたものの。 左…柏雉子 中…太公望 右…芦鴛鴦 【縦 214 c m 横 60.5 c m】
2	打掛(紫色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め(1704年～1707年)冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
3	振袖(赤色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間(1716年～1725年推定)冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緝公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
4	打掛(白色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
5	長はかま及び着物	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永4年生(1707年)～寛永元年没(1748年)伊達家5代村緝公が着用したものの。 (長はかまは近衛家より拝領品)
6	のしめ(室内着)及び帯	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文化6年生(1809年)伊達家9代義監公が着用したものの。
7	陣羽織	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	天保5年生(1834年)～明治24年没(1891年)伊達家10代邦直公が着用したものの。
8	火事装束	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
9	子供用綿入れ(2組)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文久2年生(1862年)～伊達家11代基理公が着用したものの。 (慶応、明治初期1825～1872年)
10	子供用単衣	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
11	当別開拓の図	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたもの。 (岩出山出身 正蘭氏筆) 【縦 68 c m 横 110.5 c m】
12	史蹟伊達邸別館	有形文化財	S 51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建 89.16㎡

### 【無形】

13	当別音頭	無形文化財	H25.3.27	当別音頭を守る会が所有	当別音頭は、昭和45当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。
----	------	-------	----------	-------------	--

## ➤ 6 教育の沿革

年号	できごと
明治 5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
24年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当）（明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
25年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
26年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
29年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする（明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
32年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
33年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
34年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
	・青山中央小学校が青山簡易教育所として創立
	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
35年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
37年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
38年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置（14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
39年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
40年	・二級町村から一級町村へ昇格
	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる（明治42年には高等科は3年制に変更）
	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
41年	・二股小学校が二股教育所として創立
42年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
43年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
44年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
45年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
大正 4年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
7年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
8年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
9年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6（裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
14年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
昭和 9年	・札沼線当別一札幌間開通
10年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
16年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
21年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定により解任、25年より当別町教育委員会から委嘱）
	・体育指導委員として7名が北海道庁長官から委嘱される（昭和36年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱）
22年	・当別村から当別町へ昇格（町制施行）
	・学制改革により6・3・3制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される
	・四番川小学校が全焼、新校舎落成
	・当別中学校が当別小学校に併置され創立
	・弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立
	・青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立

年 号	で き ご と
昭和22年	・ 中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・ 西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・ 四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・ 当別町体育連盟が組織される（昭和34年に体育協会に改組）
24年	・ 第1回当別町成人式举行 ・ 当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25年	・ 当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26年	・ 獅子内小学校全焼 ・ 太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・ 三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27年	・ 当別町教育委員会発足（公選により4人、町議会から1人の計5人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定）
28年	・ 二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・ 三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31年	・ 法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・ 当別町教育目標を設定し公表
38年	・ 当別町公民館が当別町体育館として完成（工事費3,855万円・建物面積1,322㎡・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室）
39年	・ 町立当別高等学校（昭和36年発足・全日制、定時制併置）が道へ移管され道立となる ・ 当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置（1学級・児童10名・教員2名） ・ 当別町青少年問題協議会発足
40年	・ 当別町相撲場完成（面積64㎡・屋根付き） ・ 当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・ 材木沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・ 当別町体育総合道場完成（工事費280万円・建物面積201.5㎡・柔道、剣道、重量挙、弓道の道場として活用）
41年	・ 当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置（1学級） ・ 当別町学校水泳プール完成（工事費751万円・規模：児童生徒用25m×15m×1.2m、幼児用10m×10m×0.6m）
42年	・ 四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・ 伴静江奨学金運営委員会発足 ・ 当別町中学校発足20周年記念式典举行
43年	・ 青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける（47年までの4年間） ・ 当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44年	・ 当別中学校を現在の下川町125番地に移築（工事費20,500万円・建物面積5116.61㎡） ・ 当別小学校屋内体育館改築（工事費2,293万円・建物面積912㎡）
45年	・ 開基100年記念祝典及び記念諸行事開催 ・ 当別町開拓郷土館完成（工事費1,417万円・建物面積337.48㎡） ・ 当別町公民館世紀分館完成（工事費410万円・建物面積165㎡・会議室、和室3室） ・ 当別町青少年会館完成（工事費1,474万円・建物面積448㎡・体育室、集会室、和室、厨房兼実 ・ 当別町栄公園テニスコート完成（2面・面積1,330㎡）
46年	・ 三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町弓道場完成（面積224㎡・射的場） ・ 当別町西当別プール完成（工事費1,537万円・規模：競泳25m×10m×1.2m、低学年用10m×5m×0.7m、児童用5m×5m×0.4m） ・ 当別小学校校舎改築（46年1期工事、47年2期工事・総工事費26,000万円・建物面積4,857㎡）
47年	・ 当別幼稚園園舎新築（工事費2,385万円・建物面積580㎡） ・ 当別町中小屋スキー場完成（工事費434万円・総面積11,719㎡）
48年	・ 四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合
49年	・ 中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費140万円・総面積2,400㎡・25m級ジャンプ台） ・ 当別町青山中央プール完成（工事費1,855万円・規模：25m×10m・上屋付）
50年	・ 青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合 ・ 二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費5,325万円・建物面積612㎡・4月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） ・ 東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53年歯学部及び附属病院開設、59年歯科衛生士専門学校開設、60年教養部を音別町から移転、平成5年看護福祉学部開設、6年校名を北海道医療大学に変更）
51年	・ 当別町社会教育指導員設置
52年	・ 当別町中学校発足30周年記念式典举行

年 号	で き ご と
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町第2プール完成（工事費2,600万円・規模：25m×10m・上屋付）</li> <li>当別町若葉球場完成（工事費6,300万円・総面積12,133㎡）</li> <li>当別町青少年センター完成（工事費4,434万円・建物面積351㎡・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室）</li> <li>青山中央小中学校新校舎完成</li> </ul>
53年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町南部地域会館完成（建物面積227㎡・研修室、会議室、和室、厨房室）</li> <li>中小屋中学校新校舎完成</li> </ul>
54年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町体育協会創立20周年記念式典挙行</li> <li>当別町東裏プール完成（工事費1,955万円・規模：20m×10m）</li> <li>当別町若葉サッカー場完成（1面・面積7,000㎡）</li> <li>当別町若葉テニスコート完成（2面・面積1,368㎡）</li> </ul>
56年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町弁華別プール完成（工事費3,090万円・規模：25m×10m）</li> <li>当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費1,350万円・面積6,590㎡）</li> </ul>
57年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別ロータリークラブ奨学金制度発足</li> <li>当別町中小屋プール完成（工事費2,982万円・規模：25m×10m）</li> <li>当別町しらかばテニスコート完成（工事費2,297万円・4面・面積5,100㎡）</li> <li>当別伊達記念館完成（工事費3,654万円・建物面積161.59㎡・開拓資料展示）</li> <li>伊達邸別館完成（移転工事費515万円・建物面積92.53㎡・復元資料展示・明治13年建築）</li> </ul>
59年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町教育奨励賞制定</li> <li>当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費2,270万円・全天候型2面・面積1,330㎡）</li> </ul>
60年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別川河川公園ゲートボール場完成（4面）</li> </ul>
62年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町スポーツ賞制定</li> </ul>
63年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別小学校に「ことばの教室」開級（1学級認可）</li> </ul>
平成元年	<ul style="list-style-type: none"> <li>金沢小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>当別町総合体育館完成（総工事費12億9,000万円・敷地面積10,802㎡・建物面積4,287.94㎡・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム）</li> <li>当別町体育協会創立30周年記念式典挙行</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町きららパークゴルフ場完成（8ホール、平成3年4ホール増設）</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合</li> <li>当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員2名配置）</li> <li>当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積910.8㎡・鉄骨及び膜構造・2面）</li> <li>当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費2億3,460万円・建物面積1,103㎡・規模：一般用25m×17m、低学年用 他）</li> <li>学校週5日制スタート</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町学校体育施設開放事業開始</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別川河川緑地パークゴルフ場完成（18ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場）</li> <li>当別町東裏地域会館完成（工事費3,700万円・建物面積244㎡・調理実習室、和室、大会議室、研修室）</li> </ul>
7年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町学校給食センター完成（工事費8億3,039万円・鉄筋コンクリート・鉄骨造・ドライシステム、8年1月より全13校で給食開始）</li> <li>少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始</li> </ul>
8年	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小屋小学校が火災により焼失</li> </ul>
9年	<ul style="list-style-type: none"> <li>西当別コミュニティーセンター完成（工事費9億5,795万円・敷地面積4,949㎡・建物面積2,068㎡・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室）</li> <li>当別町中学校開校50周年記念式開催</li> </ul>
10年	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小屋小学校新校舎完成（工事費3億576万円・総床面積1,105㎡・普通教室3、特別教室2、多目的ホール）</li> </ul>
11年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>当別町公民館世紀分館改築（工事費3,150万円・総床面積182.25㎡・集会室2室、洋室、和室、厨房）</li> </ul>
12年	<ul style="list-style-type: none"> <li>青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合（宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始）</li> <li>当別町青山中央プール廃止</li> </ul>
13年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町適応指導教室設置</li> <li>学校評議員制度開始</li> <li>当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転</li> </ul>
14年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町子ども議会開催</li> <li>当別町歴史ボランティア設置</li> </ul>

年 号	で き ご と
平成15年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省モデル地域事業「NPO等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施（15～16年度）</li> <li>・伴静江奨学金制度廃止</li> <li>・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転</li> <li>・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管</li> <li>・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管</li> <li>・当別町第2プール廃止</li> <li>・当別町東裏プール廃止</li> <li>・当別町中小屋プール廃止</li> </ul>
16年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川下小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始</li> <li>・当別町第2次生涯学習推進計画策定</li> </ul>
17年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合</li> <li>・当別町文化賞制定</li> </ul>
18年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園）</li> <li>・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる</li> <li>・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中）</li> <li>・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始</li> </ul>
19年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町弁華別プール廃止</li> <li>・蕨岱小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別町西当別プール廃止</li> <li>・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティーセンターとして設置</li> <li>・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転</li> <li>・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管</li> <li>・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞</li> <li>・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設</li> <li>・当別町公民館及び開拓郷土館廃止</li> <li>・当別町特別支援教育推進サポート組織設置</li> <li>・「子どもの健全育成サポートシステム」開始</li> </ul>
20年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転</li> <li>・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足</li> <li>・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始</li> <li>・当別町学校支援地域本部事業開始</li> </ul>
21年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町総合体育館アリーナ床補修工事</li> <li>・当別町女性団体連絡協議会創立40周年記念式典挙行</li> <li>・第3次当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事</li> <li>・当別町文化協会創立40周年記念式典挙行</li> <li>・当別小学校水泳プール改修工事</li> </ul>
22年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町体育協会創立50周年記念式典挙行</li> <li>・当別総合型地域スポーツクラブ設立</li> <li>・当別町子どもの読書活動推進計画（5ヵ年計画）策定</li> <li>・当別町140年記念式典及び記念諸行事開催</li> <li>・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事</li> <li>・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）</li> </ul>
23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体</li> <li>・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園</li> <li>・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転</li> <li>・当別町家庭教育の手引き発刊</li> </ul>
24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別小学校体育館落成（工事費2億8,896万円・総床面積983㎡・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫3室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下）</li> <li>・栄町教職員住宅解体工事</li> <li>・当別町立小・中学校で2学期制を導入</li> <li>・当別プレイハウスが当別小学校内に移転</li> </ul>

年 号	で き ご と
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕</li> <li>・弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧</li> </ul>
25年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定</li> <li>・西当別中学校教員住宅解体</li> <li>・当別小学校北校舎トイレ改修工事</li> <li>・当別中学校トイレ改修工事</li> <li>・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事</li> <li>・西当別中学校給水設備改修工事</li> </ul>
26年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>・教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設</li> <li>・土曜学習会の開始</li> <li>・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転</li> <li>・西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修</li> <li>・当別町いじめ防止基本方針策定</li> </ul>
27年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定</li> <li>・当別町子ども発達支援センター完成</li> <li>・当別町子どもの読書活動推進計画（第2次計画）策定</li> <li>・家読の日を制定（毎月23日）</li> <li>・町内各小学校のフッ化物洗口事業を1年生から6年生まで実施</li> <li>・放課後学習会の開始</li> <li>・文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成27～29年度）</li> </ul>
28年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合</li> <li>・当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入</li> <li>・教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管</li> <li>・教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設</li> <li>・当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置</li> <li>・町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）</li> <li>・西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸）</li> </ul>
29年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)鋼管工業から120万円の目的寄付があり、西当別中学校のバスケットボードを改修</li> <li>・中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校）</li> <li>・当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置</li> <li>・当別・西当別両中学校区で学校運営協議会発足</li> <li>・「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞</li> <li>・西当別小学校校舎屋根改修工事（工事費19,980千円、設計額626千円、昭和57年築校舎、木軸屋根→無落雪屋根）</li> <li>・各小学校の3～6年生へデジタル教科書を配置（国語、算数）</li> </ul>
30年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会管理課を学校教育課に改称</li> <li>・西当別小学校屋内体育館屋根改修工事（工事費19,762千円、設計額4,644千円）</li> <li>・当別町一体型義務教育学校基本設計</li> <li>・小学校外国語授業完全実施（新学習指導要領対応）</li> <li>・ICT機器（電子黒板、書画カメラ等）全校全学級へ配置完了</li> </ul>
31年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立ふとみ保育所を廃止し、社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園おとぎのくにを開園</li> <li>・教育委員会社会教育課文化財・町史編纂係が文化財保護係に改称</li> </ul>

## ➤ 7 統計データ

### (1) 小中学校施設の概況

学校名	校舎構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
当別小学校	R	4,922	983	20,967	昭和46年	平成24年
西当別小学校	R	4,351	702	15,789	昭和57年	昭和58年
小学校合計		9,273	1,685	36,756		
当別中学校	R	4,234	950	43,310	昭和44年	昭和44年
西当別中学校	R	3,839	678	28,749	昭和55年	昭和54年
中学校合計		8,073	1,628	72,059		
小中合計		17,346	3,313	108,815		

※R：鉄筋コンクリート造

### (2) 児童生徒数の推移

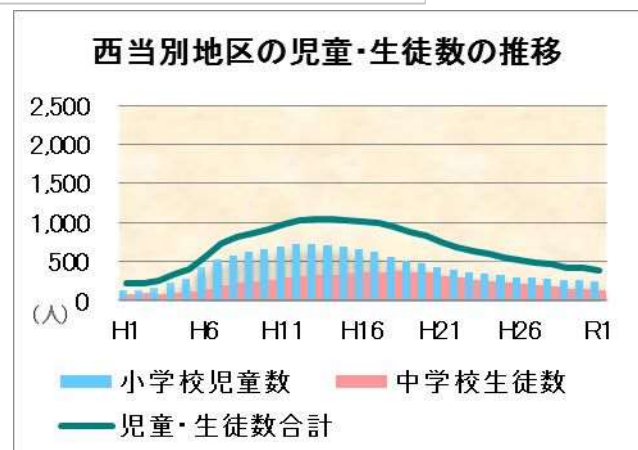
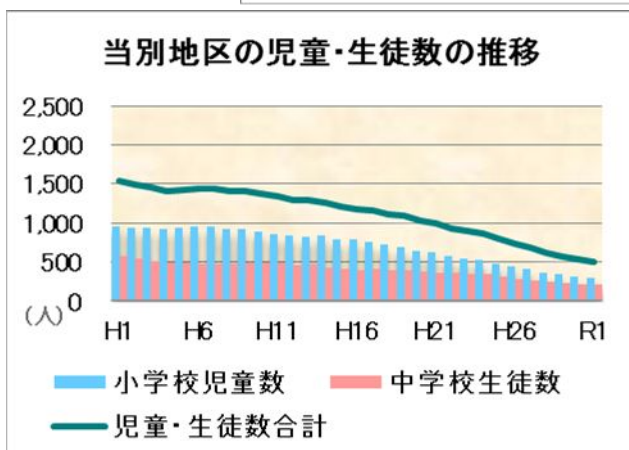
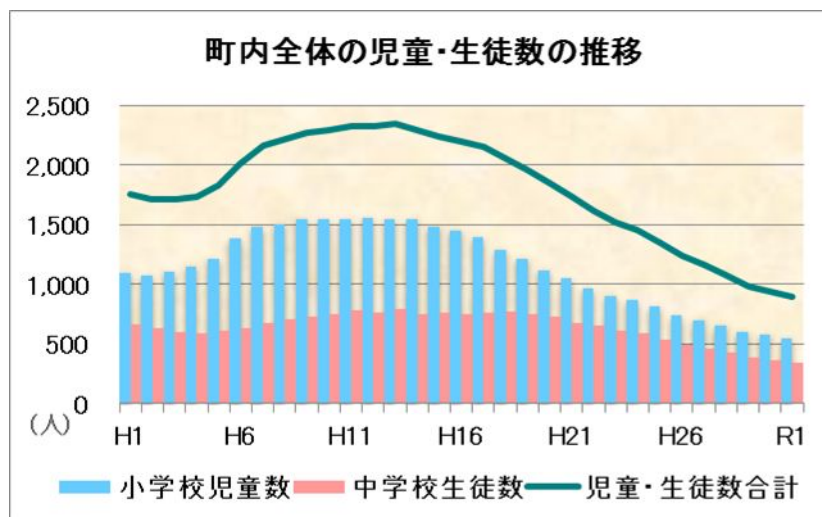
#### ◆ 小学校児童数

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
27	109	99	113	112	134	134	701
28	103	104	91	114	110	128	650
29	72	107	105	90	114	111	599
30	78	72	109	111	91	117	578
R1	73	80	81	108	115	95	552

#### ◆ 中学校生徒数

年度	1年	2年	3年	計
27	140	160	160	460
28	131	138	161	430
29	119	132	136	387
30	108	119	135	362
R1	115	108	119	342

各年5月1日現在（単位：人）



(3) 各学校統合年の一覧

◆ 小学校

	学校名	統合年の一覧		
当別小学校	当別小			
	東裏小	H20		
	蕨岱小	H19		
	中小屋小	H18		
	川下小	H16		
	金沢小	H1		
	材木沢小	S40		
	弁華別小	H28		
	青山小	S50		
	青山中央小	H12		
	二股小	S50		
	四番川小	S48		
	三番川小	S46		
	西当別小学校	西当別小		
太美小		S26		
獅子内小		S26		
当別高岡小		H3		

◆ 中学校

	学校名	統合年の一覧	
当別中学校	当別中		
	中小屋中	H17	
	弁華別中	H28	
	青山中央中	H12	
	二股中	S48	
	三番川中	S46	
	四番川中	S42	
西当別中学校	西当別中		
	当別高岡中	S43	



(4) 就学援助の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新小学校 1年生	対象人数			8	9
	援助総額			325	455
小学校	対象人数		127	110	111
	援助総額		8,883	7,680	7,536
新中学校 1年生	対象人数			22	23
	援助総額			1,043	1,320
中学校	対象人数		77	59	69
	援助総額		8,747	7,182	7,444
計	援助総額		17,629	16,230	16,756

\* 新小学校・新中学校1年生に対する新入学準備金は、平成29年度より実施。

(5) 特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	対象人数		7	9	8
	支給総額		225	236	221
中学校	対象人数		7	7	4
	支給総額		343	353	211
計	対象人数		14	16	12
	支給総額		568	589	433

6 特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	対象人数		46	40	55
	支給総額		241	287	314
中学校	対象人数		12	10	7
	支給総額		67	60	42
計	対象人数		48	50	62
	支給総額		308	347	356

(7) コミュニティーセンター・文化施設等及び体育施設利用状況

白樺コミュニティセンター

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室1	和室2・3	談話室	計
28	件数	255	53	665	212	222	83	1,491
	人数	3,672	1,040	15,041	4,150	1,709	992	26,613
29	件数	272	39	694	160	216	116	1,499
	人数	3,298	632	11,427	3,347	1,573	863	21,150
30	件数	300	61	639	184	210	123	1,519
	人数	3,817	1,000	11,081	3,651	1,409	1,014	21,992

西当別コミュニティセンター

年度\区分	アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	他(見学)	計	
28	件数	979	367	126	197	61	380	0	2,110
	人数	20,806	11,735	3,296	3,335	562	3,096	0	42,830
29	件数	908	405	127	246	77	376	0	2,139
	人数	19,516	17,028	3,333	4,075	1,191	3,368	0	48,511
30	件数	930	361	221	229	63	362	0	2,166
	人数	18,279	10,437	2,753	3,666	829	3,182	0	39,146

当別町学習交流センター“ふくろう図書館”

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
28	16,311	6,471	22,782	4,927	1,062	5,989	10,289	8,561	18,850
29	12,237	9,560	21,797	4,581	821	5,402	10,657	9,050	19,707
30	11,039	10,584	21,623	4,305	1,008	5,313	11,419	9,357	20,776

西当別コミュニティセンター図書室

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
28	17,035	5,837	22,872	4,409	1,081	5,490	8,807	8,172	16,979
29	11,093	10,337	21,430	4,234	1,169	5,403	9,069	8,483	17,552
30	11,021	10,950	21,971	4,493	1,114	5,607	9,785	8,935	18,720

## 世紀会館

年度\区分		洋室	集会室A	集会室B	和室	計
28	件数	142	170	44	2	358
	人数	937	1,943	449	10	3,339
29	件数	145	163	97	5	410
	人数	855	1,602	878	21	3,356
30	件数	62	176	75	2	315
	人数	370	1,706	669	15	2,760

## 当別伊達記念館・伊達邸別館

年度	人数
28	1,229
29	1,592
30	1,439

## 当別町総合体育館

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
28	件数	1,348	878	323		
	人数	54,295	10,772	3,154	8,481	5,051
29	件数	1,337	668	254		
	人数	49,757	9,993	3,402	9,444	4,775
30	件数	1,322	440	221		
	人数	42,125	10,114	3,543	9,366	4,410

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

### (8) ふとみ保育所利用状況

(各年3月31日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
28	6	16	15	11	18	17	83
29	11	10	21	15	11	21	89
30	9	15	13	24	15	12	88

### (9) 子ども発達支援センター利用状況

年度\区分	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	特定相談支援	
28	人数	42	5	12	44	0
	件数	1,218	194	65	-	-
29	人数	35	6	6	41	1
	件数	1,190	173	27	-	-
30	人数	33	7	4	49	0
	件数	1,124	274	11	-	-

### (10) 私立幼稚園助成費

【対象施設：学校教育法に基づく私立幼稚園（※新制度に移行した幼稚園を除く）】

#### (ア) 就園奨励費補助金

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
対象幼児数	0	1	1
補助金交付額	0	80	272

(11) 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

(ア) 施設型給付費

施設型給付費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教育	対象児童数		122	139	130
	給付額		58,390	71,383	70,532
保育	対象児童数		72	80	88
	給付額		56,432	76,461	86,540
計	対象児童数		194	219	218
	給付額		114,822	147,844	157,072

(イ) 特別保育事業補助金等

補助金等の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延長保育事業	実施施設数		2	2	2
	対象児童数		57	60	69
	補助金交付額		719	667	710
障がい児 保育事業	教育	対象児童数	6	5	7
		補助金交付額	5,845	4,819	5,498
	保育	対象児童数	3	5	2
		補助金交付額	5,549	8,945	3,958
	計	対象児童数	9	10	9
		補助金交付額	11,393	13,764	9,456
一時預かり事業 （一般型）	実施施設数	1	1	1	
	対象児童数	25	29	14	
	補助金交付額	2,897	2,525	1,816	
一時預かり事業 （幼稚園型）	実施施設数	1	1	1	
	対象児童数	66	65	63	
	補助金交付額	2,123	2,474	2,771	

令和元年度  
当別町の教育

令和元年6月発行

編集・発行：当別町教育委員会